



瀬戸内における

水環境を基調とする海文化

瀬戸内の日々の生活に根ざした
身近な景観と保全の取り組み

令和 3 年 2 月

公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

瀬戸内における水環境を基調とする海文化
瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み

目 次

はじめに		1
1. 瀬戸内の人文景観の特徴と保全		
（１）令和時代の故郷再発見（ディスカバージャパン）と 瀬戸内の人文景観		2
（２）瀬戸内の身近な人文景観		3
（３）人文景観とともにある持続可能な社会		7
2. 瀬戸内の日々の生活に根ざした景観		
（１）農林漁業景観		9
（２）商工鉱業景観		16
（３）交通運輸景観		23
（４）建築・町並み景観		31
（５）その他の景観（生活の風景等）		45
3. 景観保全に関する法制度と保全に向けた取り組み		
（１）景観保全に関する法制度		51
（２）景観保全の取り組み事例		51
おわりに		63

はじめに

「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」は、瀬戸内の海への親しみや関心を高め、人々とのふれあいや絆を深めるツールとして、各地に伝わる海文化の情報を収集・整理し、瀬戸内海の沿岸域の市民へ提供してきた。これまで、市民に最も親しみのある「食文化」をはじめとして「伝統行事」「石の文化・塩の文化」「藻場・干潟と保全の取り組み」「海・浜辺と保全の取り組み」を順次提供してきたが、今回はその最終回として市民の身近にある海文化として「日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み」についての情報を収集・整理した。

瀬戸内は、温和な気候風土、穏やかな海のため、古くから人の営みが行われ、その時代の遺跡や文化財が各地に数多く残されている。瀬戸内の文化は「瀬戸内海には、海の文化、石の文化、塩の文化、・・・など、自然環境と一体となった環境文化が根付いてきたと言われており、原生林の様な大自然は無いが、自然と調和した里海の漁村、里地の農村、里山の山村などの営みが中心となってきた。現在も、瀬戸内海は自然と歴史と文化が渾然となった重層的で多様な風景をもっている。(瀬戸内海辞典、南々社、137-149 頁、西田正憲より)」と総括されている。

その生活の場である島々や沿岸域の里には、伝統の風景である農・工・商の風景、町並み等暮らしの風景があり、また斬新な風景として近年のコンビナート夜景やマリナー等がある。さらに、それらが自然景観と組み合わせあって融合した景観資産地区やそれらを繋ぐランドスケープ・ネットワーク（景観遍路回廊）も瀬戸内の貴重な景観資産である。

平成 27 年の瀬戸内海環境保全特別措置法の改正及び瀬戸内海環境保全基本計画の変更において、それまでの 2 つの目標「水質の保全」、「自然景観の保全」は、『豊かな海』の実現に向けて「沿岸域の環境の保全及び創出」、「水質の保全及び管理」、「自然景観及び文化的景観の保全」、「水産資源の持続的な利用の確保」という 4 つの目標に追加変更された。景観に関しては「自然景観」に加え「文化的景観」の保全が掲げられたことが特筆される。

今回、瀬戸内の景観情報に関して「日々の生活に根ざした身近な景観」としてその歴史と特徴を整理し、その景観の価値を紹介することとした。このことにより、これらの貴重な景観と人々との絆が深まり、継承への寄与につながれば幸いである。

2019 年に、米国で最も著名な媒体の一つ、「The New York Times (ニューヨーク・タイムズ)」の電子版で、「52 Places to Go in 2019 (2019 年に行くべき 52 か所)」が発表され、日本で唯一「瀬戸内の島々」がリスト入りし、7 番目に紹介された。

瀬戸内海の多様な風景や文化は、国内のみならず海外の人々をも魅了しているのである。



せとるべ 高松港玉藻防波堤灯台
提供：(公社)香川県観光協会

1. 瀬戸内の人文景観の特徴と保全

(1) 令和時代の故郷再発見（ディスカバージャパン）と瀬戸内の人文景観

JR 岡山駅で「瀬戸の花嫁」のメロディーを聞きたびに多島美の風景が思い出され、郷愁に駆られる。岡山に住んだのはわずか2年間であったが、蘇る光景は「ふるさとの海」のようで不思議と懐かしい。小柳ルミ子さんのこの歌が発売されたのは今から約50年前、昭和47(1972)年のことである。

戦後、日本は右肩上がりの成長を続け、昭和43(1968)年にはGNP世界第2位の経済大国となった。そして、昭和45(1970)年には“人類の進歩と調和”がテーマの大阪万博が成功裡に終わり、わが国の経済は絶頂期を迎えた。栄華はいつまでも続くものと感じられた。一方で、日本の経済を四大工業地帯とともに支えてきた瀬戸内海は汚れ、自然の海岸はなくなっていった。赤潮が各地で発生し、埋立てが進んだ。「瀬戸内海環境保全特別措置法」の前身である「瀬戸内海環境保全臨時措置法」が制定されたのは昭和48(1973)年、丁度、この頃である。

そしてまた、当時の国鉄による昭和の「ディスカバージャパン」のキャンペーンが展開されたのもこの時期であった。昭和のディスカバージャパンは「旧来の名所や観光地をまったく意識させないことで、逆に新しい旅行需要をつくり出し、国内旅行先の再開発の役割を果たした」¹⁾。若い女性を中心とする新しい大きな動きは、各所に残る日本の良さを見つめ直す契機となった。振り返ってみると、貿易によりグローバル化が進んだ時代にあって、あたかも一方に振れ過ぎた振り子の揺り戻しのように思えてくる。

昭和から平成への時代、バブル経済絶頂の頃、「ふるさと創生事業」が当時の竹下登・内閣総理大臣の発案で行われた。この時も地方に目が向けられた。ふるさとの良さを見出す地域の知恵や工夫が求められた。

今、わが国はコロナ禍の真っ只中にある。令和の時代を迎え、一年も経たないうちに新型コロナウイルス感染症との闘いに巻き込まれた。2020年当初、中国で広がりを見せたこのウイルスはグローバルの極致ともいえる時代のなかで世界的に広がっている。「ウイズ・コロナ」「アフターコロナ」の時代においていかに生活をしていくべきか「新しい生活様式」が求められている。新生活では「コロナを止めるか経済活動を止めるか」の二者択一ではなく、コロナ禍の状況に順応した経済活動が求められる。一方のみの選択の先にはヒトも経済も悲惨な結果しか待っていない。当然、経済活動のひとつ・観光のあり方も変革が必要となっている。

こうした状況下、「マイクロツーリズム」²⁾が注目され始めている。「マイクロツーリズム」とは1時間圏内の地元観光客に着目するツーリズムの新しいあり方である。提唱する星野リゾートの星野佳路代表は、観光需要回復の第一段階として、これに期待する。何より「近場の観光」は地元の人々による地元の良さの掘り起こしの機会となるだろう。今回、瀬戸内海環境保全協会の会員自治体から景観に関する多数の情報が寄せられた。ひとつひとつが本シリーズのテーマ「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」における「瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み」を意識したものであり、提供された方々思いの詰まった人文景観である。瀬戸内には古代、中世、近世、近代、そして現代と、各時代の特色のある人文景観があふれている。西田正憲は『瀬戸内海の発見』のなかで次のとおり具体的に示す。

「先土器、縄文、弥生時代遺跡から、古代の古墳と山城、国府跡、国分寺跡、中世の水軍遺跡（海城、山城）と合戦場跡、古代、中世、近世を通じて発展する神社仏閣と港町、近世の城郭、農漁村集落、さらには瀬戸内海に特徴的な段々畑や傾斜畑、養殖塩田跡、石切場、そして近代の洋式灯台、軍事遺跡、精錬所、現代の工業地帯、長大橋、



対潮楼から仙酔島を眺める（広島県福山市鞆の浦）

タワー、…海洋レクリエーション関係のリゾートホテル、マリーナ、浮体構造物、釣り桟橋、人工海浜等々…一方で、江戸後期になって、日本人はようやく歌枕的名所の風景からの離脱をはじめ、紀行文に遠景の俯瞰景の記述が目立つようになると瀬戸内海をひとつのまとまった地域と捉えるようになり、いくつかの灘は内海、そして美しい多島海として理解されるようになった。」³⁾

日本人は瀬戸内海の新しい風景を発見し、定着させていったのである。それは人文景観と自然景観が一体となったものであった。そ

して、一体となり調和した景観は瀬戸内海国立公園の誕生へと導いた。人文景観とは、一言で言えば、「時間と空間のなかで人々の日常や営みから紡ぎ出される景観」である。そうした身近な場所で「はっ」とする景観の発見、すなわちふるさとの再発見のひとつひとつがこれからの瀬戸内の可能性をさらに広げていくと考えられる。この一連の過程こそが令和時代の故郷再発見（ディスカバリージャパン）といえるであろう。

（２）瀬戸内の身近な人文景観

人文景観をより具体的に示すと、家や町並みに代表される人文景、日常生活や行事などで出会う生活景、農林水産鉱工業が作り出す産業景が主なものである。これらを少し整理し、今回、瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観（以下「身近な景観」という）として、(1)農林漁業景観、(2)商工鉱業景観、(3)交通運輸景観、(4)建築・町並み景観、(5)その他の景観（生活の風景等）の5つに区分して、情報が提供された。この5区分に沿って以下に特徴を抽出する。

・(1)農林漁業景観

農業景観では傾斜地と利用した棚田や段々畑に関するものが7か所（④と⑤は後述、「⑧柑橘の段々畑」（広島県呉市）、「⑨鹿島の段々畑」（広島県呉市）、「⑫狩浜の段々畑」（愛媛県西予市）、「⑬遊子水荷浦の段々畑」（愛媛県宇和島市）、「⑭等覚寺地区の棚田」（福岡県京都郡苅田町））が集まった。この7か所のうち「⑤下津町方の段々畑」と一体的に形成されているといってもいいのが、2019（平成31）年に日本農業遺産に認定された「④下津蔵出しみかんシステム」（和歌山県海南市）の景観である。石積みした傾斜地を利用したみかん畑の景観である。糖と酸味を微妙なバランスとするため、畑地に設けた土蔵でみかんを熟成させてから出荷するのが「蔵出しみかん」である。山頂などには雑木林を残して土砂流出を防ぎ、急傾斜地ではびわを栽培し地形に順応した農業を行い、里地里山の生物多様性を維持した持続可能性の高い農業システムとなっている。次に花を楽しめる農業景観として、「②綾部山梅林」（兵庫県たつの市御津町）と「⑦赤崎海岸のじゃがいも畑」（広島県東広島市）の2か所の提供があった。前者は「ひとめ2万本」といわれる約24ヘクタールの梅林で農業構造改善事業の成果として生まれたものである。後者のある安芸津町の木谷・赤崎地区は、明治末期からジャガイモの栽培が盛んな所として地元では有名である。

「赤馬鈴薯」として知られるジャガイモは、レンガづくりにも用いられた赤い土が生み出している。農業に関連するものとして2か所の情報があつた。降水量が少ない瀬戸内地方では、ため池が水がめとなって農業を支えてきた。「①加古大池」(兵庫県加古郡稲美町)は、兵庫県最大のため池であり、満水面積は約 49 ヘクタールを誇るものである。そして干拓による新田開発の地に残る「⑪周防灘干拓遺跡」については、2(1)では代表して一つを紹介しているが、山陽小野田市高泊にある高泊開作浜五挺唐樋と山口市名田島にある名田島新開作南蛮樋の2か所からなる。いずれも江戸時代に萩藩によって行われた干拓の様子を現代に伝える貴重なもので1996(平成8)年には国の史跡となった。農林水産省のHPによれば「唐樋とは、汐の干満作用により自然開閉する構造をもった樋門…。樋門は幅 10.81m、総高 6.18m で、現在の新しい樋門が建設されるまで、300 年以上にわたって機能」「名田島新開作南蛮樋は、山口市の榎野川の河口部にあり、…潮の干満で自然開閉する唐樋に対して、人力によって板を上下に動かして水の動きを調節」とある。いずれも現在、樋門としての機能は失われているものの当時の土木技術を色濃く残す貴重なものとなっている。

漁業からはカキ小屋を含めてカキ関連のものが3か所(「③牡蠣の養殖景観」(兵庫県赤穂市)、「⑥虫明湾のカキ筏」(岡山県瀬戸内市)、「⑩簗島カキ小屋」(福岡県行橋市))、そしてアサリ関連のものが1か所(⑩後述)、残る1か所は魚市場(「⑮簗島魚市場」(福岡県行橋市))である。カキの養殖景観は瀬戸内海を代表する漁業景観であろう。広島県はカキ類養殖生産量日本一を続けているし、岡山県、兵庫県も上位に食い込んでいる。多くの人に親しまれている風景である。集まったものの中で特に目を引くものが「⑩大野のあさり畑」(広島県廿日市市)である。大野瀬戸の向こうに宮島を望む大野の干潟に作られている畑である。干出時には、杭で升目に仕切られたあさり畑の景観が出現する。

・(2) 商工鉱業景観

商業景観としては、まず「①明石・魚の棚」(兵庫県明石市)、「⑤五味の市」(岡山県備前市日生町)、「⑩宮島表参道商店街」(広島県廿日市市)の商店街2か所、市場1か所の計3か所が寄せられた。このジャンルでは、その他13か所の情報があり、1か所の鉱業景観(「⑦北木島採石場」(岡山県笠岡市))を除く12か所はすべて工業に関連するものである。うち「②復元塩田の風景」(兵庫県赤穂市)、「③古池塩田の風景」(兵庫県赤穂市)、「④旧日本専売公社建物群」(兵庫県赤穂市)、「⑪三田尻塩田旧越中屋釜屋煙突」(山口県防府市)、「⑫福永家住宅」(徳島県鳴門市)は「塩」関連のものである。そして「⑥水島臨海工業地帯」(岡山県倉敷市)、「⑧レンガ工場(輪環窯煙突部)」(広島県竹原市)、「⑨呉港の旧海軍史跡」(広島県呉市)、「⑬波止浜の造船工場群」(愛媛県今治市)、「⑭苅田町工場夜景」(福岡県京都郡苅田町)、「⑮沿岸部工場夜景」(大分県大分市)、「⑯造船所の進水式」(大分県佐伯市鶴谷町)は工場や造船所が生み出す景観であり、特に工場夜景は今の時代に評価を高めているホットな景観である。

・(3) 交通運輸景観

ここでは灯台関連のものとして「①今津灯台」(兵庫県西宮市)、「③雑賀崎灯台」(和歌山県和歌山市)、「⑦大久野島灯台」(広島県竹原市)、「⑮高松港玉藻防波堤灯台(せとしるべ)」(香川県高松市)、「⑯男木島灯台」(香川県高松市)、「⑰関崎灯台」(大分県大分市)と6か所集まった。

港湾は「④宇野港」(岡山県玉野市)、「⑪元宇品海岸」(広島県広島市)、「⑫宮島口地区」(広島県廿日市市)、「⑳西大分港」(大分県大分市)の4か所が寄せられた。

今回、橋梁も多く寄せられている。視点場（見る場）としてだけではなく、中には見る対象としての橋梁も含まれている。「②明石海峡大橋」（兵庫県神戸市・淡路市）、「⑤瀬戸大橋（鷺羽山展望台）」（岡山県倉敷市）、「⑥内海大橋」（広島県福山市）、「⑨安芸灘とびしま海道」（広島県呉市）、「⑩音戸の瀬戸」（広島県呉市）、「⑭大鳴門橋（千畳敷展望台から）」（徳島県鳴門市）、「⑰来島海峡大橋」（愛媛県今治市）である。

道路では「⑧R185 さざなみ街道」（広島県竹原市）、「⑬鳴門スカイライン」（徳島県鳴門市）、「⑱一般県道山内吉富線外」（福岡県築上郡吉富町）の3か所が寄せられている。道路からの流れる景色（シークエンス景観）を楽しむ場として意識されているものである。

ユニークなのは、「⑲航空自衛隊築城基地」（福岡県築上郡築上町）である。航空祭には例年、約5万人が訪れるという。基地が地域に溶け込み、身近な景観となっている証であろう。

・(4) 建築・町並み景観

「寺社・仏閣」では「③おのころ島神社」（兵庫県南あわじ市）、「④住吉神社」（兵庫県明石市）、「⑥伊和都比売神社境内」（兵庫県赤穂市）、「⑧加太春日神社」（和歌山県和歌山市）、「⑨淡嶋神社」（和歌山県和歌山市）、「⑳榊山八幡神社」（広島県東広島市）、「㉔阿波井神社」（徳島県鳴門市）に加えて、「寺社仏閣」「建築物」「集落」の3つの分類にまたがる複合的な「⑩絶景の宝庫 和歌の浦」（和歌山県和歌山市）である。

「建築物」では「①神戸ポートタワー」（兵庫県神戸市）、「⑭むかし下津井回船問屋」（岡山県倉敷市）、「⑮旧柚木家住宅（西爽亭）」（岡山県倉敷市）、「⑲柄酒造」（広島県東広島市）、「㉒三之瀬地区」（広島県呉市）、「㉓海上自衛隊第一術科学学校」（広島県江田島市）、「㉗亀老山展望公園」（愛媛県今治市）の情報が寄せられた。

「集落・町並み（含む街並み）」では、「②旧居留地」（兵庫県神戸市）、「⑤坂越のまち並み」（兵庫県赤穂市）、「⑪湯浅町湯浅の町並み」（和歌山県有田郡湯浅町）、「⑫真鍋島本浦地区」（岡山県笠岡市）、「⑬下津井の町並み保存地区と干し蛸」（岡山県倉敷市）【注：「⑭むかし下津井回船問屋」は、この保存地区にある】、「⑯鞆の町並み」（広島県福山市）、「⑱たけはら町並み保存地区」（広島県竹原市）、「㉑御手洗のまちなみ」（広島県呉市）、「㉕塩飽本島町笠島重要伝統的建造物群保存地区」（香川県丸亀市）、「㉖「多度津町多度津」の伝統的町並み」（香川県仲多度郡多度津町）、「㉙外泊石垣の里」（愛媛県南宇和郡愛南町）が挙げられた。

「都市」のジャンルでは「㉚貝定展望台」（愛媛県四国中央市）が寄せられてきた。「日本夜景100選」のひとつであり、眼下に広がる夜景を楽しむ展望台である。

「その他」は3か所である。「㉟友ヶ島」（和歌山県和歌山市）は要塞遺跡であり、「㉟尾道駅前の海辺の遊歩道」（広島県尾道市）は、海岸に沿って伸びるウッドデッキ状の遊歩道であり、市民や観光客の憩いの場となっているものである。そして「㉟豊前松江駅」（福岡県豊前市）は建築物としてというよりも視点場としての意味合いが強い。

・(5) その他の景観

このジャンルは前述の(1)から(4)の区分には、なじみにくいものなどが13件挙がっている。大括りで「日々の生活の中での風景」と「行事・慣習・祭事」に区分できる。前者は「①マープルビーチ・タリイサザンビーチの夕陽」（大阪府泉南市）、「③広村堤防」（和歌山県有田郡広川町）、「④下津井の干し蛸」（岡山県倉敷市）、「⑤下津井共同井戸群」（岡山県倉敷市）、「⑥渡船通学の風景（尾道水道）」（広島県尾道市）、「⑦小鳴門海峡の渡船」（徳島県鳴門市）、「⑩浜の宮海岸」

(福岡県築上郡築上町)、「⑪吉富漁港 黒松千本植樹」(福岡県築上郡吉富町)、「⑫湯けむり景観」(大分県別府市)、後者は「②相生のペーロン競漕」(兵庫県相生市)、「⑧櫃石ももて祭」(香川県坂出市)、「⑨瀬居八幡宮の秋大祭(船渡御)」(香川県坂出市)、「⑬豊後二見ヶ浦大しめ縄張替え」(大分県佐伯市)である。



瀬戸内国際芸術祭の作品の一つ
草間彌生「赤かぼちゃ」と瀬戸内(香川県直島)

常の通勤・通学風景、長大橋や人工海浜からの景色、祭り、段々畑、商店街・市場、石切場、レンガ工場や美しい夜景を創出する工業地帯などの今日へと続く現代的風景』というように多様である。また、キーワードを拾ってみても「棚田・段(々)畑」「花を楽しめる農業景観」「ため池」「干拓」「カキ(牡蠣)関連」「商店街・市場」「塩関連」「工場・造船所」「灯台」「港湾」「橋梁」「道路」「寺社・仏閣」「展望台」「集落・町並み(含む街並み)」「石垣」「渡船」「行事・慣習・祭事」「堤防」「温泉」など実に様々である。ここからあぶり出されてくるのは「多様性」である。「身近な景観の多様さ」、これこそが、今回の情報をもとにして、浮かび上がってきた瀬戸内の身近な景観の特徴といえる。

元来、遣隋使、遣唐使の昔から、瀬戸内海は国内外へと通じる交流の道であった。多くの人々や物資が行き交う中に日常の生活があり、世代が交代し、時代が流れながら積み重ねられ、歴史が作られてきた。その中で文化が育まれ、そして今に繋がっている。

瀬戸内に残る身近な景観は、瀬戸内が持つ里山里海的で人の手によって維持されてきた自然環境や地勢の上で形成され、

- (i) 国内に留まらない人や物資の移動(海と陸の回廊)
- (ii) 産業活動(農漁業、鉱工業(石と塩)、温泉ほか)
- (iii) 戦争・災害(防災)と復興

などを背景に技術が進歩していくなかで人々の営みや生活から生み出されたものなのである。

それでは、ここで収集された情報を少し整理していきたい。

最も印象的なことは、林業に関連するものや瀬戸内国際芸術祭で創出された景観がなかったことである。今回収集されたもの以外にも身近な景観があるものと思われるが、この点は重要であろう。

このことを踏まえつつ、提供された身近な景観を俯瞰してみると、『古くからの景観を残す寺社仏閣、近世の雰囲気色が濃く残る港町や街並み、近代の軍事遺跡、渡船が風情を添える日



長浦毒ガス貯蔵庫跡(広島県大久野島)

（３）人文景観とともにある持続可能な社会

今回、「景観保全に関する法制度と保全に向けた取り組み」では 22 件の情報が寄せられている。都市計画法、文化財保護法、景観法、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）、景観等の条例に基づくもののほか、「りんくう海道ブルーツーリズム事業」が寄せられた。いずれも地域の人たちの協力を得つつ、府や県、市町村が中心となって行ってきた取り組みの事例である。身近な景観が保全されるためには、まずもって対象となる景観の価値が地域で理解されて、共有されることが最も大切なのである。収集された事例は、まさに基盤となる取り組みであり、重要な意義を持っている。

ところで、人文景観を保全するうえで重要な点が 2 つある。それは、時代により景観の評価が変わる点と景観を保全するには努力が必要である点である。無くなるのは、その時代に生きている人から評価されなくなることが要因のひとつである。一方で身近な景観の維持は、その時代を生きる人たちがその価値を評価して、親しまれ愛されてきた地域の宝物を継承することであり、見える化された人々の記憶を次の世代へ継承することでもある⁴⁾。因島等がかつての景観を残そう頑張るのは、そこで今-生きている人達にとって、目の前から記憶もろとも大切なものが消えようとしているからである。だから残そうとするのである。



因島除虫菊の父・村上勘兵衛翁之碑



重井西港斜面の馬神除虫菊畑と瀬戸内
(広島県因島)



香川県三豊市詫間町の「フラワーパーク浦島」では休耕田を活用した花畑を地域が協働で維持していることをこの看板で伝えている。

他方、3.（１）にあるように、「景観を守る地域の過疎高齢化に伴うマンパワー不足が深刻」になっている現実がある。景観を維持していくためにはお金も人手も必要であり、そのための努力が必要なのである。

少子高齢化が進む、これからの日本を考えた時に何が大切になってくるのであろうか？ やはり、エネルギーなどの地産地消を基本としながら個々の地域内で経済がスムーズに回り、相互に交流する地域が連続して繋がり、それらの集合体が一体化していくことが大切なのではないか。その延長線上に世界が広がっている。そんな状況のなかで各地域の豊かさが増していき、住む人たち、ひとりひとりが光り輝いて生きている。個々の地域の宝物を他の地域の人たちが理解し、賛同者として何度も来てくれて家族のようになる。建物などは資産として積極的に活用されて、保全されていく。それが理想であろう。

近年、国立公園など様々な分野において多様な主体が取り組みに参加する、いわゆる「協働」のかたちが随所にみられる。最近では、棚田地域振興法が施行され、行政機関（都道府県・市町村）、

農業者、地域住民等が参加して地域協議会を結成し、棚田を中心として地域振興などに取り組み、それを関係府省庁と一緒に支援していく枠組みが構築されている。背景には、国はもちろん自治体において財政的に厳しいこともあるが、それ以上に、地域づくりの主体は、地域に住む人たちであるという考え方や理解が浸透してきた結果なのではないだろうか。

従って、これからは地域の知恵が試される時代となる。ハード整備型で地域づくりを進めていくことよりも、あるものや持っているものを活かす工夫も求められる発想がますます重要になってくる。そのためにも分野や専門が異なる人々が集うことには意義がある。加えて、保全のための資金をいかに得ていくのか？ これもまた重要なことであり、外から支援を得る「ふるさと納税」制度は大切なツールとして有効活用していくことが大切だ。いかに地域の外に仲間やリピーターを作っていくか、増えていくことで地域の就業の場が増える可能性がある。住民主体という点からはクラウドファンディングも積極的に活用したい。国の有形文化財に登録されている淡路島の春陽荘ではクラウドファンディングによって得られた資金も補改修に活用されたと聞く。

身近な景観の持続性は「個性」「つながり」「一体感」を強化していくことにより高まる。それぞれの個性ある景観がICTなどを活用しながら繋がり、瀬戸内で強固な一体感を醸し出すネットワークが出来れば、全体としてのストーリー性も高まり、来訪者を魅了して保全へと結びつき、持続性を高めていく。地域の誇りである景観が地域を輝かせ、地域の人たちを生き生きとさせる。地域の人たちが輝かないと地域は続かない。



SDGs ピンバッチ

2030 年を目標年次としている持続可能な開発目標がある。SDGs である。17 の目標と 169 のゴールから構成されている。ユニークなのは、達成するためのルールがなく、最終地点のみが決められているところである。最近、様々なところで取り上げられるようになった。写真のピンバッチは 17 の目標のアイコンの色を示している。映像などで付けている人の姿を、数多く見かけるようになった。11 番目の目標は「住み続けられる街づくりを」であり、蟹江憲史は著書『SDGs（持続可能な開発目標）』の中でこの趣旨を「都市や人間の居住地をだれも排除せず安全かつレジリエントで持続可能にする」と解説している⁵⁾。この目標は、今住んでいる人たちの子どもや孫が、その地域に住みたくなって、命のバトンが次の世代へと受け継がれていくような持続可能な地域づくりに通ずる。グローバル化

の負の側面が見つめ直され、個性ある地域が連なる持続可能でしなやかな社会が築きあげられるためには、身近な景観の保全が要であるといえるだろう。

<引用・参考文献>

- 1) 白幡洋三郎(1996)：旅行ノススメ：中公新書，81
- 2) 星野佳路(2020)：旅行業界の風雲児が対峙する逆境：見えてきた 7 つのメガトレンド アフターコロナ：日経 BP ムック，102-103
- 3) 西田正憲(1999)：瀬戸内海の発見：中公新書，27，132-133，146 ほか
- 4) 佐山浩ほか（2015）：瀬戸内海地域固有の景観資産の掘り起こしに関する調査研究（平成 25 年度福武財団瀬戸内海文化研究・活動支援），10
- 5) 蟹江憲史（2020）：SDGs（持続可能な開発目標）：中公新書，98-101

2. 瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観

(1) 農林漁業景観

農業の風景

瀬戸内海は、温暖な気候で穏やかな環境に恵まれていることから、穀物、野菜、果樹、花卉類を中心に付加価値の高い農産物が生産されてきた。江戸時代には、木綿、イ草、小麦、大豆、コメ、柑橘類、榎、サツマイモなどが盛んに栽培された。島しょ部では平地が少なかったことから、段々畑の開墾が進められ、サツマイモ、除虫菊、柑橘類などの栽培が盛んに行われていた。明治時代にはイワシやマグロの油漬け缶詰に使用するオリーブオイルを国内自給するため、試験的にオリーブ栽培を小豆島等で実施し唯一成功した。また 16 世紀の前半頃愛媛県から始まったミカン栽培は愛媛県南予地方一帯に広がり、温暖な気候を利用して、山の上まで続く段々畑がみかんの一大産地を形成した。生産過剰やオレンジ自由化等による減産があったが、ブランド化やレモン等のような多彩な柑橘類を生産するようになっていく。これらの農業景観は周囲の環境と相まって多様な外観形状や色彩を提供してきた。

漁業の風景

瀬戸内海は多くの島々や入り組んだ海岸線により、豊かな漁場が形成されており、古代より海人の生活の舞台であった。中世以降海産物の需要の増加に伴う市場や運搬船の港・漁村が発達し、特有の景観を醸し出している。漁業形態も多種多様で、漁船による操業風景は動きのある特有の景観を醸し出している。また近年では内海特有の静かな海面では養殖業が盛んに営まれており、ノリ養殖の海苔ひび、カキ養殖筏、魚類養殖網筏等は幾何学的景観を提供している。古来からの「自然景」と、近年の「人工物」かき筏が融合した風景は、まさに瀬戸内海の生業景観の象徴である。

瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観の事例のうち農林漁業に関して収集した結果を図 2-1、表 2-1-1、2-1-2 に示す。



図 2-1 農林漁業景観

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第 13 条第 1 項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表 2-1-1 農林漁業景観 事例一覧

1 農林漁業景観				分類					紹介根拠							キーワード
				①	②	③	④	⑤	A	B	C	D	E	F	G	
府県名	番号	名称	湾・灘名	段々畑・傾斜畑	棚田	花卉栽培	ため池	その他	社会的に認知	価値がある	インスタ映えがする	〇〇百選	文化財・重要伝統的建築物	映画等の舞台	その他	
兵庫県	①	加古大池	播磨灘				○			○					○	兵庫県最大の ため池
	②	綾部山梅林	播磨灘			○			○	○	○					
	③	牡蠣の養殖景観	播磨灘					○	○	○	○					坂越の牡蠣
和歌山県	④	日本農業遺産 「 しもつ 下津蔵出しみかんシステム」によるランドスケープ	紀伊水道	○						○	○				○	日本農業遺産（認定：H31.2）
	⑤	しもつちようかた 下津町 方の段々畑	紀伊水道	○						○					○	わかやまの美しい 棚田・段々畑
岡山県	⑥	むしあげわん 虫明湾の力キ筏	播磨灘					○	○		○	○				岡山観光 WEB、 朝日百選
広島県	⑦	あかさき 赤崎海岸のじゃがいも畑	燧灘					○			○					
	⑧	柑橘の段々畑	安芸灘・広島湾	○					○							
	⑨	鹿島の段々畑	広島湾	○					○						○	美しい日本のむら 景観コンテスト農 林水産大臣賞
	⑩	大野のあさり畑	広島湾					○				○				はつかいち景観百 選
山口県	⑪	周防灘干拓遺跡 なだしましんかいさくなんぼん 名田島新開作南蛮樋	周防灘					○					○			土木遺産
愛媛県	⑫	狩浜の段畑	豊後水道	○						○			○			
	⑬	ゆすみずがうら 遊子水荷浦の段畑	豊後水道	○					○			○	○			重要文化的景観、 にほんの里 100 選
福岡県	⑭	とかくし 等覚寺地区の棚田	周防灘		○				○	○		○				農村景観百選 農林 水産省 1992 年
	⑮	蓑島魚市場（蓑島西部漁港）	周防灘					○							○	開かれた市場として セリ見学ができる
	⑯	蓑島 カキ小屋（蓑島西部漁港）	周防灘					○	○							蓑島のカキ“豊前 海一粒かき”は福 岡県のブランド商 品

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第 13 条第 1 項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表 2-1-2 農林漁業景観事例

①	加古大池	湾・灘名	播磨灘
分類	ため池	所在地	兵庫県加古郡稲美町
加古大池は、江戸時代初期に加古地区の新田開発に伴い築造された、満水面積約 49 ヘクタールを誇る兵庫県下最大のため池です。 平成 13 年には防災ダム事業が行われ、併せて 1 周 3 キロメートルの遊歩道・親水護岸・管理棟など水辺に親しめる施設が整備され、カヌー、ウインドサーフィン、ウォーキングなど多くの人々に愛され活用されています。また、1ha もあるヨシ原が保全されており、多くの野鳥がやってきます。水面のなかほどには島があり、水神さんがまつられています。			
情報源	兵庫県 HP、稲美町 HP (情報提供：兵庫県)		

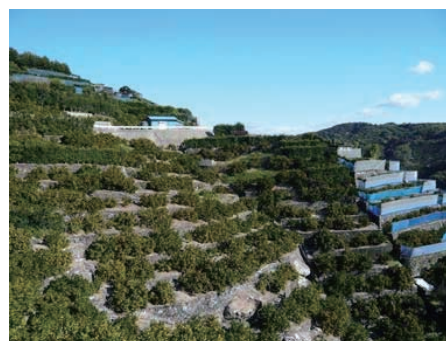
②	綾部山梅林	湾・灘名	播磨灘
分類	花卉栽培	所在地	兵庫県たつの市御津町
綾部山梅林は、24ha の広大な綾部山広陵の梅林で、ひと目 2 万本、海に見える梅林として西日本一といわれています。 兵庫県の南西部・西播磨の最南端にあり、東に播磨工業地帯を臨み、眼下には新舞子浜の海岸、瀬戸内の家島群島、小豆島、淡路島などが広がり、遠くに四国を望むことができます。 園内には 1500 年前の古墳が点在し、歴史の香りがたよう風光明媚なスポットです。 梅の例年の見頃は、2月中旬が 5 分咲き、2月下旬～3月上旬に満開となります。			
情報源	農事組合法人黒崎梅園組合 HP、たつの市観光協会御津支部 HP		(情報提供：兵庫県)

③	牡蠣の養殖景観		湾・灘名	播磨灘
分類	その他	所在地	兵庫県赤穂市	
播磨灘における牡蠣養殖は昭和 49（1974）年に坂越で始まり、その後、相生市やたつの市に広がりました。坂越湾の沈降海岸が海流の緩やかな入り海を形成し、牡蠣養殖の最適条件となっています。様々な自然条件を考慮して移動する牡蠣筏は、坂越の重要な景観となっています。（「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP より）				
情報源	赤穂市歴史文化基本構想（「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP）			（情報提供：兵庫県）

④	日本農業遺産「 しもつ 下津蔵出しみかんシステム」による ランドスケープ	湾・灘名	紀伊水道
分類	段々畑・傾斜畑	所在地	和歌山県海南市下津町
「日本農業遺産」とは、我が国において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を、農林水産大臣が認定する制度であり、令和元年11月現在で15地域が認定されています。 日本農業遺産には8つの認定基準がありますが、その1つが「ランドスケープ・シースケープの特徴」であり、「長年にわたる人間と自然との相互作用によって発達してきたランドスケープ・シースケープ」が評価されます。 平成31年2月に日本農業遺産に認定された「下津蔵出しみかんシステム」とは、日本のみかん発祥の地と云われる海南市下津地域における持続性の高い農業システムであり、このシステムは独自のランドスケープを生み出しています。 下津地域は、ほとんどが傾斜地であることから、独自の石積み技術により段々畑を築き、みかんを栽培するとともに、急傾斜地等では、地形をそのまま活かし、びわを栽培してきました。 また、みかん園内につくった土壁の蔵において、みかんを熟成させ、甘味を増す「蔵出し技術」を生み出しています。 さらに山頂や中腹に雑木林を配置することで、水源涵養や崩落防止などの機能を持たせるとともに、里地・里山の豊かな生物多様性を維持しており、雑木林からびわ園、みかんの段々畑へと続く“下津ならでは”のランドスケープが形成されています。 地域では、日本農業遺産の認定を契機とし、このランドスケープの保全に取り組んでいます。			
情報源	海南市 HP http://www.city.kainan.lg.jp/kakubusho/machizukuribu/norinsuisangakari/nougyouisann/index.html		



⑤	しもつちようかた 下津町方の段々畑	湾・灘名	紀伊水道
分類	段々畑・傾斜畑	所在地	和歌山県海南市下津町方地区
方地区は、海南市の南部に位置し、南は長峰山脈、西は紀伊水道に面しています。江戸時代に急斜面を段々畑に開墾し、温暖な気候を活かしたみかん栽培が始まりました。下津蔵出しみかんの産地であるとともに「方横山みかん」として古くから地域ブランドが形成されています。 樹園地に張り巡らされた灌漑設備の整備や管理を土地改良区が行っています。地区としても、中山間地域等直接支払交付金事業及び多面的機能支払交付金事業を活用し、段々畑の石垣や農道の補修、鳥獣害対策に力を入れています。			
情報源	わかやまの美しい棚田・段々畑 https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070110/kikin_d/fil/riceterrace-wakayama.pdf		



⑥	むしあげわん 虫明湾の力キ筏	湾・灘名	播磨灘
分類	その他	所在地	岡山県瀬戸内市虫明
瀬戸内市邑久町の東部に位置する虫明漁港に立って東方海上を望めば、長島と鴻島の間、その先の太多府島と頭島の間、さらにその先の鶴島と鹿久居島の間、海と空が接するあたりから朝日が昇ってきます。 平安時代に平忠盛がこの地に立ち寄り、『虫明の 迫門の曙 見る折ぞ 都のことも 忘れにけり』と夜明けの美しさを詠んだことから、虫明迫門の曙と言われ、日本の朝日百選にも選ばれました。空は真っ赤に燃え、海も島も黄金色に染まり、その景観は荘厳そのものです。			
情報源	日本財団海と日本 project in 岡山 HP、公益財団法人岡山県観光連盟		



写真提供：岡山県観光連盟

⑦	赤崎海岸のじゃがいも畑		湾・灘名	燧灘
分類	その他（じゃがいも畑）	所在地	広島県東広島市	
目の前に鼻線島とホボロ島をのぞむ赤崎地区の安芸津側の海岸線は、地元の人でも絶賛するほど景色のいいところとして知られています。5月、6月にはすぐ上にあるじゃがいも畑一面に白い花が咲きます。				
情報源	東広島市「観光・イベント情報」HP			（情報提供：広島県）

⑧	柑橘の段々畑		湾・灘名	安芸灘・広島湾
分類	段々畑・傾斜畑		所在地	広島県呉市
呉市の島しょ部では、温暖な瀬戸内の気候を活かしたみかんやレモンなどの柑橘類の栽培が盛んです。 陽当たりと水はけのために石を積んで作られた段々畑は、「耕して天に至る」と言われたほど島の急斜面を覆い、秋から冬にかけての収穫時期になると、島全体がみかんの黄金色に染まります。 なかでも豊・豊浜の大長みかん・大長レモン、倉橋のいしじは全国に誇るブランドとなっています。				
情報源	呉市HP		(情報提供：広島県)	

⑨	鹿島の段々畑	湾・灘名	広島湾
分類	段々畑・傾斜畑	所在地	広島県呉市
広島県の最南端、倉橋町鹿島には、江戸時代から築かれた段々畑が山の頂上近くまで続く景観が残されています。 鹿島は平地が少なく急斜面が海岸線まで迫っているため、耕作のためには石垣を築き、山を開拓しなければなりませんでした。その様子がピラミッドのように見えることから、平成9年（1997）「第6回美しい日本のむら景観コンテスト」において「だんだんばたけのピラミッド」として農林水産大臣賞を受賞しました。 石垣に使われた石の中には海から運び上げたと思われる貝殻のついたものもあり、人々がひとつひとつ、こつこつと積み上げていったことがわかります。この美しい景観は、この島で脈々と続く人々の生活と、開拓の苦労の証を後世に伝えています。			
情報源	呉市HP、農林水産省HP		
		(情報提供：広島県)	

⑩	大野のあさり畑		湾・灘名	広島湾
分類	その他（あさり養殖）	所在地	広島県廿日市市	
宮島の対岸にあたる大野地区では、宮島との間に広がる天然の干潟と穏やかな潮流に恵まれ、古くからアサリの産地として知られています。干潟を畑状に区画し、今も伝統の手掘りにこだわって一つ一つ丁寧に収穫されるため、砂が少なく食べやすいのが特徴で、ふくよかな味わいと品質の良さで親しまれています。				
情報源	はつかいち景観百選		(情報提供：広島県)	

⑪	周防灘干拓遺跡 なだしましんかいさくなんばん ひ 名田島新開作南蛭樋	湾・灘名	周防灘
分類	その他（土木遺産）	所在地	山口県山口市
瀬戸内海の西部に位置する山口湾では、江戸時代以来、盛んに干拓による新田開発が行われてきた。名田島新開作は、安永4年に完成した萩藩による大規模な干拓で、当時の堤防や樋門、遊水地などが国の史跡に指定され、文化財として保護されている。史跡の周辺に広がる田園風景とともに、干拓による新田開発の様子を現地で実感することができる。 史跡は、「保存管理計画」「整備基本計画」に基づいて、調査や整備に取り組んでおり、堤体の発掘調査では二重構造の石垣を発見するなど江戸時代の土木技術の一端を明らかにした。また上流側遊水地では、浚渫で現代の堆積土を除去することにより、往時の景観を復元している。			
  		情報源 山口県HP（山口県の文化財）、名田島南蛭樋保存管理計画（情報提供：山口県）	

⑫	狩浜の段畑	湾・灘名	豊後水道
分類	段々畑	所在地	愛媛県西予市
狩浜は西予市南西部に位置し、地区全体が宇和海（豊後水道）に面しています。 海岸部はリアス海岸が広がり、集落の背後には、山々があります。山の斜面には耕地が階段状に広がっており、段畑と呼ばれています。狩浜の段畑の石積みの多くは石灰岩によるものです。 平成31年2月には、宇和海狩浜の段畑と農漁村景観が国の重要文化的景観に選定を受けています。			
		情報源 四国西予ジオパークHP 全国文化的景観地区連絡協議会HP（情報提供：愛媛県）	

⑬	ゆすみずがうら 遊子水荷浦の段畑	湾・灘名	豊後水道
分類	段々畑	所在地	愛媛県宇和島市
宇和島市西部沿岸、三浦半島北側中央部の水荷浦地区には、昔ながらの段畑の景観が現在も残されています。段畑の景観は、本地域の生業が反映された極めて貴重な景観であり、段畑を中心とした本地域の景観を後世へと継承するため、景観法に基づく景観計画を策定し保存に取り組んでいます。 現在、遊子地区の関係諸団体により構成される「段畑を守ろう会」によって、水荷浦の段畑を後世に残していこうとする活動が行われています。同活動については平成15（2003）年3月にふるさと愛媛創造賞を受賞しています。			
		情報源 宇和島市HP 宇和島市遊子水荷浦地区景観計画書（情報提供：愛媛県）	

⑭	とかくじ 等覚寺地区の棚田	湾・灘名	周防灘
分類	棚田	所在地	福岡県京都郡苅田町
白川の山口・谷地区から山道を登っていくと、標高 300 メートルの位置に等覚寺の棚田があります。1992 年に農林水産省から農村景観百選（美しい日本のむら景観百選）に選ばれました。5 月下旬から 6 月上旬にかけて田植えが行われ、9 月中旬から 10 月上旬にかけて稲刈りが行われます。9 月中旬には彼岸花、9 月下旬にはソバの花も咲き、棚田を美しく彩ります。また、全国的にも珍しいアサギマダラ（蝶々）が飛来する土地としても知られ、写真家を始め多くの方が訪れています。			
情報源	苅田町役場 HP	(情報提供：福岡県)	

⑮	蓑島魚市場	湾・灘名	周防灘
分類	その他（魚市場）	所在地	福岡県行橋市大字蓑島 470
開かれた市場として 2 階からセリ見学ができ、一般の来場者も仲卸売り場で新鮮な魚介類が購入できます。			
情報源	行橋市パンフレット	(情報提供：福岡県)	

⑯	蓑島カキ小屋	湾・灘名	周防灘
分類	その他（カキ小屋）	所在地	福岡県行橋市大字蓑島 470 付近
蓑島のカキは周防灘の栄養豊富な海で育ったため、磯の香りが豊かで大粒。豊前海一粒かきは福岡県のブランドとして出荷されており、11 月中旬～2 月中旬頃がシーズンとなっています。			
情報源	行橋市パンフレット	(情報提供：福岡県)	

(2) 商工鉱業景観

瀬戸内海における産業は、「石の文化」で紹介した採石・石切場が古くから各地にあるほか、江戸時代から「たたら製鉄」、「製塩」、「陶器づくり」「銅精錬」等が盛んになり、明治時代から大正時代にかけて政府の富国政策により飛躍的に発展した。第一次大戦後は軍艦や海運用商船の需要から、その鉄を使う造船所も各地に設立された。第二次大戦後には、エネルギー源が石炭から石油へ転換し、石油化学製品の生産が始まり、大規模な石油コンビナートが形成された。現在の瀬戸内海は、鉄鋼、造船、自動車、石油化学製品など重化学工業を中心とした産業構造となっており、これらの産業遺産や産業風景は自然美と対比される人工美として注目されてきた。また近年では臨海工業地帯の夜景も注目され、瀬戸内海の新たな景観の一つとして定着した。

市場は宿場町や門前町、交通の要所等人があつまるところに定期市が形成されるようになり、近畿地方を中心に荘園では地方市場が生まれ、行商人が活動した。その後卸売商が現れ問屋集合の卸売市場ができ、問屋が集まる城下町の中央市場と各地の住民のための小売市場等ができた。

瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観の事例のうち商工鉱業に関して収集した結果を図2-2、表2-2-1、2-2-2に示す。



図2-2 商工鉱業景観

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第13条第1項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表 2-2-1 商工鉅業景觀 事例一覽

2 商工鉱業景観				分類					紹介根拠							キーワード
				①	②	③	④	⑤	A	B	C	D	E	F	G	
府県名	番号	名称	湾・灘名	採石・石切場	塩田跡	工場	市場・商店街	その他	社会的に認知	価値がある	インスタ映えがする	〇〇百選	文化財・重要伝統的建築物	映画等の舞台	その他	
兵庫県	①	明石・魚の棚	播磨灘				○		○							
	②	復元塩田の風景	播磨灘		○				○	○	○					日本遺産
	③	古池塩田の風景	播磨灘		○										○	日本遺産
	④	旧日本専売公社建 物群	播磨灘					○	○		○		○			県指定文化財 日本遺産
岡山県	⑤	五味の市	播磨灘				○		○		○					
	⑥	水島臨海工業地帯	備讃瀬戸			○			○			○				岡山観光 WEB、晴れの国 おかやま景観百 選、日本の夜景 100選
	⑦	きたぎしま 北木島採石場	備讃瀬戸	○					○	○	○		○			岡山観光 WEB、日本遺産
広島県	⑧	レンガ工場（輪環 窯煙突部）	燧灘			○				○						H19年近代化 産業遺産群掲載
	⑨	呉港の旧海軍史跡	広島湾			○		○	○		○	○	○	○		
	⑩	宮島表参道商店街	広島湾				○		○			○	○			特別史跡・特別 名勝厳島/廿日市 景観百選
山口県	⑪	みたじり 三田尻塩田旧越中 屋釜屋煙突	周防灘		○				○	○						
徳島県	⑫	福永家住宅（塩田 屋敷）	紀伊水道		○					○			○			重要文化財
愛媛県	⑬	はしはま 波止浜の造船工場 群	燧灘			○									○	全国有数の造船 地区
福岡県	⑭	かんだまち 荻田町工場夜景	周防灘			○			○		○					
大分県	⑮	沿岸部工場夜景	伊予灘			○					○					
	⑯	造船所の進水式	豊後水道					○		○	○					造船業

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第13条第1項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表2-2-2 商工鉱業景観事例

①	明石・魚の棚	湾・灘名	播磨灘
分類	市場・商店街	所在地	兵庫県明石市
「うおんたな」と呼ばれる明石・魚の棚商店街は、約400年前に明石城の築城とともに誕生したと伝えられており、宮本武蔵の城下町の町割りの設計により造られたと言われる古い歴史を持つ市場です。 全長350mのアーケードに、明石特産の海の幸や練り製品、海産物の乾物などを扱う商店を中心に約110店の店舗が建ち並んでいます。年末には大漁旗が飾られ、魚のまちの風情を醸し出しています。			
情報源	明石魚の棚 HP、明石市 HP		(情報提供：兵庫県)



②	復元塩田の風景	湾・灘名	播磨灘
分類	塩田跡	所在地	兵庫県赤穂市
兵庫県立赤穂海浜公園内にあり、赤穂市立海洋科学館に隣接して設置されています。揚浜式、入浜式、流下式塩田などの製塩施設が復元されており、釜屋での製塩作業の実演や、入浜式塩田での浜引き、集砂、潮かけなどの浜作業の体験、潮づくり体験が楽しめます。(「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP より)			
情報源	赤穂市立海洋科学館・塩の国 HP、赤穂市歴史文化基本構想 (「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP)		(情報提供：兵庫県)



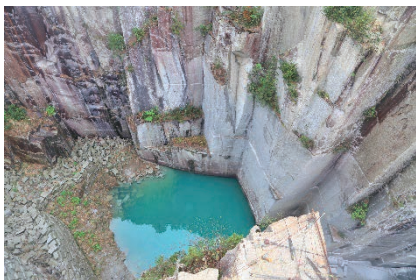
③	古池塩田の風景	湾・灘名	播磨灘
分類	塩田跡	所在地	兵庫県赤穂市
享和元(1801)年、備前国和気郡福浦村と寒河村の百姓が、福浦村字古池周辺の干潟の干拓を岡山藩に願い出ました。その後文政6(1823)年には2町8反2畝25歩半(約2.8ha)の入浜塩田が完成しましたが、生産性は低く、製塩が何度か中止されることもありました。昭和29(1954)年になると集荷式塩田による製塩が行われ、昭和46(1971)年の枝条架の全廃により製塩が中止されました。現在も枝条架撤去時の様子をそのまま残しており、貴重な遺構となっています。(「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP より)			
情報源	赤穂市歴史文化基本構想 (「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP)		(情報提供：兵庫県)



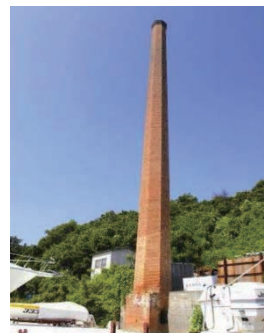
④	旧日本専売公社建物群	湾・灘名	播磨灘
分類	その他	所在地	兵庫県赤穂市
明治 38（1905）年の塩専売制施行に伴い、明治 41（1908）年に建設された塩務局庁舎。日本に唯一現存する塩務局庁舎で、現在は市立民俗資料館として、市内で収集された民俗資料を展示しています。県指定。なお近隣には旧日本専売公社の新庁舎、塩倉庫等が残されています。新川にかかる橋には荷揚げの上家から塩倉庫へ塩を運ぶためにかつて使用されていた運搬車専用のレールが残されています。（「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP より）			
情報源	赤穂市歴史文化基本構想（「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP）		（情報提供：兵庫県）

⑤	五味の市	湾・灘名	播磨灘
分類	市場	所在地	岡山県備前市日生町
1967 年に、せりを終えた後の漁協荷さばき施設を利用して、市場出荷の売れ残りを地元住民に提供するための浜売りとして始められました。その後、1970 年代後半にはいて京阪神からの観光客など来客数の増加に伴い、漁業者にとってメインの出荷先になっています。早朝に水揚げされた魚が、漁師のおかみさん達の手で威勢のいいかけ声でおすすめしてくれる様子は当地域の名物になっています。			
		写真提供：岡山県観光連盟	
情報源	日本水産学会誌 80(1)72-75(2014)「アマモとカキの里海“ひなせ千軒漁師町”（岡山県日生）」公益財団法人岡山県観光連盟		（情報提供：岡山県）

⑥	水島臨海工業地帯	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	工場	所在地	岡山県倉敷市水島
瀬戸内海に臨む総面積約 2500ha の空間に 200 を超える事業所が立地しています。この地域は、石油精製、鉄鋼生産、自動車などを基幹に、日本を代表する重化学コンビナートとして発展を続けています。瀬戸内海を背景に工場群が建ち並び昼間の景色も迫力満点ですが、美しく光り輝くコンビナートの夜景はまさに圧巻の風景です。「夜景 100 選」にも選ばれて、想像をはるかに超える感動を味わうことができます。			
		写真提供：岡山県観光連盟	
情報源	おかやまの景観ポータルサイト		（情報提供：岡山県）

⑦	北木島採石場	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	採石・石切場	所在地	岡山県笠岡市北木島
笠岡港から約 26km の笠岡諸島の中心に位置する、笠岡諸島で最も大きな島。古くから「北木御影石」で知られる「石の島」として有名で、江戸初期の大坂城修築の際には、大量の石垣石を送り出しています。明治以降、石材の採掘が本格化し、東京の日本銀行本店、三越本店、日本橋、靖国神社大鳥居をはじめ多くの建築物に北木石が使用されています。			
		写真提供：岡山県観光連盟	
情報源	岡山観光 WEB		（情報提供：岡山県）

⑧	レンガ工場（輪環窯煙突部）	湾・灘名	燧灘
分類	工場	所在地	広島県竹原市
竹原市は、瀬戸内海の豊かな自然と少雨温暖な気候に恵まれ、製塩、レンガ、葡萄など日照時間が影響する産業が発達しました。 吉名町では、明治28年（1895）に松本勝太郎が登り窯を築いたのを皮切りに、レンガの生産が始まり、鉄分を多く含む良質な赤土が豊富な土壌であったため、品質が高く、日清・日露戦争による需要の拡大とあわさり、瞬く間にレンガの産地として名を馳せることになりました。 大正14年（1925）には、従来の登り窯より熱効率に優れたホフマン式輪環窯が建てられ、この煙突部が現在に残り、平成19年（2007）に経済産業省の近代化産業遺産認定遺産リストに掲載されました。 現在も吉名町にはレンガ工場があり、高品質なレンガを作り続けています。			
情報源	竹原市歴史的風致維持向上計画		（情報提供：広島県）



⑨	呉港の旧海軍史跡	湾・灘名	広島湾
分類	工場 その他	所在地	広島県呉市
呉市の中心部は、明治時代に海軍により呉鎮守府が開庁され、日本一の海軍工廠を擁するまちとして発展しました。戦後も、戦艦大和を建造した高い技術力を基に、産業のまちとして今に至ります。 海軍用地だった呉港を中心とする沿岸部は、当時の造船ドックや建物を利用した工場が建ち並び工業地帯や、護衛艦・潜水艦を眺めることができる海上自衛隊の基地など、独特の景観を形成しています。 また、旧呉鎮守府庁舎や倉庫群などのレンガ造の建築物、国の重要文化財に指定された旧長官官舎など、海軍の歴史を今に伝える建造物が数多く残されており、平成28年、「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」として、これらの歴史ストーリーが日本遺産の認定を受けました。 近年では、こうした歴史を活かした博物館や歴史的建造物が、他にはない観光資源として人気を博しています。			
情報源	呉市HP、日本遺産ポータルサイト		（情報提供：広島県）



⑩	宮島表参道商店街	湾・灘名	広島湾
分類	市場・商店街	所在地	広島県廿日市市
宮島で最も賑やかな表参道商店街。大鳥居が見えてくる石鳥居まで約350m、ほぼ一直線に商店街が続きます。 この辺りが埋め立てられたのは江戸時代後期。やがて昭和の高度成長期にはメインストリートになりました。 通りの左右には、宮島杓子や宮島彫といった民芸品や土産物店、牡蠣や穴子を使った宮島名物料理のある食事処、旅館などがびっしりと並びます。			
情報源	はつかいち景観百選 ひろしま観光ナビ		（情報提供：広島県）



⑪	三田尻塩田旧越中屋釜屋煙突 みたじりえんでんきゅうえちゅうやかまや	湾・灘名	周防灘
分類	塩田跡	所在地	山口県防府市
旧毛利藩は1699年から三田尻（山口県防府市）での製塩に着手。7代藩主毛利重就の頃には塩の生産36万石、瀬戸内海では赤穂と並び塩の大生産地となりました。藩の財政は、米・塩・紙・蠟の四白政策によって支えられ、中でも塩は藩外への重要な輸出品で、東北では塩のことを「ミタジリ」と呼ぶ地方もあったそうです。 三田尻の塩田は塩の干満を利用して海水を引き込む入浜式で、1960年に操業を終えるまで、260年間良質の塩を作り続けました。高さ13.18mの煙突は明治末期から大正初期のもので、塩水を煮る時の煙の排出に使われていたものです。 現在は、かつての入浜式塩田の施設が復元されており、「三田尻塩田記念産業公園」では、昔の塩田作業の模型や様々な展示物等で塩の生産について学ぶことができます。			
情報源	防府市観光情報ポータル「たびたびほうふ」 防府の文化財（防府市教育委員会発行） (情報提供：山口県)		



⑫	福永家住宅	湾・灘名	紀伊水道（小鳴門海峡）
分類	塩田跡（塩田屋敷）	所在地	徳島県鳴門市鳴門町高島字浜中 1
福永家は寛文年中に、高島村で塩田を開き、製塩業を営んだ。この付近は江戸時代以来、鳴門塩田の中心で、当住宅の製塩関係建物と、入浜塩田はその唯一の遺構である。敷地は拓1,400平方メートル、周囲に石垣を築き、その外側は入浜塩田となっている。建物の配置は、中央部に南面して主屋、その西側に離れ座敷と土蔵が立ち、主屋との間を風呂、便所を取り入れた廊下でつないでいる。また主屋の東と南にはそれぞれ納屋、かん水溜、釜屋が建ち、文政末年から天保初年にかけて、現在の屋敷構えが整った。 現在、福永家住宅は国指定重要文化財に指定されており、当時の写真や製塩用具、塩田絵巻などの展示を含め、年に数度、地元ボランティアのガイドの説明付きで一般公開されている。			
情報源	徳島県観光情報サイト阿波ナビ、鳴門市HP、鳴門市うすしお観光協会HP (情報提供：徳島県)		



⑬	波止浜の造船工場群 はしはま	湾・灘名	燧灘
分類	工場	所在地	愛媛県今治市
今治の北部、波止浜地区を中心に造船関連企業が集中しています。今治の造船は明治35年に小型船舶の建造修理が行われたのが始まりです。波が穏やかな良港を持ち、全国有数の造船地区になりました。現在、15社で約6,050人の従業員（平成27年度数値）。年間の造船業売上高は約2,700億円です。			
情報源	今治市HP (情報提供：愛媛県)		



⑭	かんだまち 苅田町工場夜景	湾・灘名	周防灘
分類	工場	所在地	福岡県京都郡苅田町
臨海工業団地に工場が集積する苅田町。夜には美しい工場夜景が広がります。特に三菱マテリアル九州工場の夜景は有名で、誰が最初に呼んだのかは分かりませんが、通称「ラスボス」と呼ばれています。海を挟んで眺める光景は、まさにラスボスにふさわしい迫力があります。			
情報源	苅田町役場 HP		(情報提供：福岡県)

⑮	沿岸部工場夜景	湾・灘名	伊予灘（別府湾）
分類	工場	所在地	大分県大分市
大分市の臨海部、別府湾に面して広がる工場群。大分の海の玄関口、そしてものづくりの拠点として、市だけにとどまらず、県や九州、国の経済を支え続けています。			
情報源	大分市観光ガイドブック「おおいた旅セレクト」（大分市観光課発行）		(情報提供：大分市)

⑯	造船所の進水式	湾・灘名	豊後水道（佐伯湾）
分類	その他（造船業）	所在地	大分県佐伯市鶴谷町
「造船業」は佐伯市を代表する産業であり、現在も多くの造船所によりタンカーやフェリーといった大型船舶が海沿いの工場地帯にて造られています。新たに建造された船舶の誕生を市民とともに祝う機会として「進水式」が各造船所にて開催され、下は保育園生から上は高齢者の方々までの多くの市民が参加、進水時には地元高校生のプラスバンドの演奏が周囲に響き渡り、佐伯市特有の風景となっております。			
情報源	佐伯市観光大百科		(情報提供：大分県)

(3) 交通運輸景観

瀬戸内海は、穏やかな海であるため海上交通の要衝として古くから利用されてきた。奈良時代には遣隋使、遣唐使船の航路として、平安末期には中国・宋との貿易のための航路として、海外との文化や貿易の橋渡しの場として利用されてきた。江戸時代には河村瑞賢により西廻りの航路が開発され、大坂より蝦夷に向かう北前船が就航することにより、国内の物流を支える重要航路として、また諸大名の参勤交代や朝鮮通信使など大陸との文化交流のための航路として発展し、多くの港が整備された。明治以降、産業の発展に伴い石炭等や工業原料・製品の輸送として、鉄道の発達とあわせ航路が更に発展し、灯台や軍事要塞などが各地で設置された。一方、陸路による輸送も道路整備と共に発達した。近年では石油へのエネルギー転換により、クルマ社会が到来し、高速道路ネットワークが発達し、島々や本州と四国を結ぶ橋梁等が設置された。港湾、灯台、要塞等の個々の歴史的景観や島嶼部、沿岸部で景観資源が集積する地区、近年の瀬戸内を巡るツーリズムや海洋レジャーの発展から、それらを橋や道路で繋ぐランドスケープ・ネットワークなど周辺と調和した斬新で多様な景観資源が多く存在する。

瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観の事例のうち交通運輸に関して収集した結果を図2-3、表2-3-1、2-3-2に示す。



図 2-3 交通運輸景観

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第 13 条第 1 項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表 2-3-1 交通運輸景観 事例一覧

3 交通運輸景観				分類						紹介根拠							キーワード
				①	②	③	④	⑤	⑥	A	B	C	D	E	F	G	
府県名	番号	名称	湾・灘名	橋梁・道路	港湾	航路	燈台	土木遺産	その他	社会的に認知	価値がある	インスタ映えがする	〇〇百選	建築物・重要伝統的	映画等の舞台	その他	
兵庫県	①	今津灯台	大阪湾				○					○		○		○	日本最古の灯台
	②	明石海峡大橋	大阪湾 播磨灘	○						○		○				○	世界最長の吊り橋・ギネス世界記録認定
和歌山県	③	さいかざき 雑賀崎灯台	紀伊水道				○			○		○	○				日本遺産、夕陽百選
岡山県	④	宇野港	播磨灘		○					○		○					晴れの国おかやま景観百選、岡山観光 WEB、アート作品
	⑤	瀬戸大橋 (鷲羽山展望台)	備讃瀬戸	○						○		○	○				晴れの国おかやま景観百選、岡山観光 WEB
広島県	⑥	うつみ 内海大橋	備後灘	○									○				ふくやま景観 100 選
	⑦	おおくの 大久野島灯台	燧灘				○					○				○	2016 年に恋する灯台プロジェクト認定
	⑧	R185 さざなみ 海道	燧灘	○						○		○					H19 年日本風景街道認定
	⑨	安芸灘とびしま 海道	安芸灘	○						○		○					
	⑩	おんど 音戸の瀬戸	安芸灘・ 広島湾	○		○				○		○					
	⑪	元宇品海岸	広島湾		○								○				Viewtiful!ひろしま 広島らしい眺望景観 25 選
	⑫	宮島口地区	広島湾		○	○					○						宮島口地区景観ガイドライン
徳島県	⑬	鳴門スカイライン	紀伊水道・ 播磨灘	○						○	○						
	⑭	大鳴門橋(千畳敷 展望台から)	紀伊水道・ 播磨灘	○						○		○					
香川県	⑮	高松港玉藻防波堤 灯台(せとしるべ)	播磨灘				○			○		○					恋する灯台、日本三大夜灯台、日本夜景遺産
	⑯	おぎ 男木島灯台	播磨灘				○			○		○			○		日本の灯台 50 選、喜びも悲しみも幾年月
愛媛県	⑰	くるしま 来島海峡大橋	燧灘	○						○		○				○	世界初の三連つり橋
福岡県	⑱	一般県道山内吉富 線外	周防灘	○							○						地元で定期的に清掃を行い、景観の保全活動が行われている
	⑲	航空自衛隊 築城基地	周防灘			○				○							年に一度航空祭を実施
大分県	⑳	西大分港	伊予灘		○						○	○					
	㉑	せきさき 関崎灯台	豊後水道				○					○					

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第 13 条第 1 項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表2-3-2 交通運輸景観事例

①	今津灯台	湾・灘名	大阪湾
分類	灯台	所在地	兵庫県西宮市
江戸時代の寛政5年（1793年）にできた今津港では、当時、江戸積みの酒荷を運ぶ樽廻船でにぎわっていました。本灯台は文化7年（1810年）、西宮今津の酒造家・大坂屋長兵衛（長部家5代）が樽廻船や漁船の航海安全を願って創建したものです。 本灯台は、航路標識として海上保安庁から正式認定されている日本最古の灯台であり、西宮市指定重要有形文化財にも指定されています。			
情報源	大関株式会社 HP		（情報提供：兵庫県）

②	明石海峡大橋	湾・灘名	大阪湾、播磨灘
分類	橋梁	所在地	兵庫県神戸市、淡路市
明石海峡大橋は、兵庫県神戸市と淡路島の間の明石海峡に架かる、橋長3,911m、中央支間長1,991mの世界最大の吊橋です。本橋は、本州と四国を繋ぐ本州四国連絡架橋事業の一環として建設されたもので、昭和63年5月に現地工事に着手し、建設中の平成7年に平成7年兵庫県南部地震という未曾有の自然災害にみまわれたものの、着工から約10年の歳月を経て、平成10年4月に完成しました。 別名パールブリッジの愛称のとおり、真珠を連ねたような美しいライトアップは様々な色の組み合わせがあり、海の闇間に映えるイルミネーションは幻想的。毎正時には、虹色の輝きを見ることができます。			
情報源	本州四国連絡高速道路株式会社 HP		（情報提供：兵庫県）

③	さいかざき 雑賀崎灯台	湾・灘名	紀伊水道（和歌浦湾）
分類	灯台	所在地	和歌山県和歌山市
雑賀崎は、万葉集に「紀伊国の 雑賀の浦に出でみれば 海人の燈火 波の間に見ゆ」と歌われるほど古くからの景勝地であり、室町時代には網漁業にきた漁師が住むようになったと伝えられています。 雑賀崎には、彼岸の夕焼けの空に花が降るように見える「ハナフリ」を眺める風習があり、1960年に設置された雑賀崎灯台は夕日の絶景スポットとして有名です。			
情報源	雑賀崎観光パンフレット		（情報提供：和歌山市）

④	宇野港	湾・灘名	播磨灘
分類	港湾	所在地	岡山県玉野市宇野
1日に多数の船が行き来する宇野港は、明治42年（1909年）に建設されました。昭和63年（1988年）に瀬戸大橋が完成するとフェリーターミナルとしての整備が進み、現在は、24時間活動型のウォーターフロントを志向する再開発事業が進行中です。その一環として、文化発信、観光拠点、憩いの場としての機能充実が図られ、宇野港シーサイドパークでの各種イベント開催をはじめ、音楽を中心としたアート&イベントホール「楽彩工房」、広大なスペースの倉庫を改造して芸術家・工芸家が創作活動する「駅東創庫」などが人気を博しています。 静かな波の中を大小様々なフェリーが入出港する様は、瀬戸内海ならではの光景です。また夜は港の常夜灯とフェリーの照明がロマンチックな景色を作り出しています。			
情報源	おかやまの景観ポータルサイト		（情報提供：岡山県）

⑤	瀬戸大橋（鷺羽山展望台）	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	橋梁	所在地	岡山県倉敷市下津井
日本初の国立公園として知られる瀬戸内海国立公園の代表的な景勝地で、鷺が羽を広げた様子に似ていることから「鷺羽山」と名付けられました。 標高133mの山頂「鍾秀峰（しょうしゅうほう）」からは、波静かな海上に点在する大小50余りの多島美と雄大な瀬戸大橋の姿を存分に楽しむことができます。 特に夕景の美しさは格別で、「日本の夕陽百選」に選定されています。		 写真提供：岡山県観光連盟	
情報源	倉敷観光 WEB		（情報提供：岡山県）

⑥	内海大橋	湾・灘名	備後灘
分類	橋梁	所在地	広島県福山市
全長832m、中央部で大きくカーブするその姿は、瀬戸内の多島美にマッチし、美しい景観を創り出しています。また、歩道も併設してありますので、自転車や徒歩で渡ることもでき、時々刻々変化する瀬戸内海の景観を楽しむことができます。			
情報源	ふくやま景観100選		（情報提供：広島県）

⑦	大久野島灯台	湾・灘名	燧灘
分類	灯台	所在地	広島県竹原市
大久野島は、戦時中は軍の機密により島の存在が隠されたことから「地図から消された島」と呼ばれ、今なお戦時遺跡が残されていますが、現在は国立公園に指定され、約900羽もの野生のウサギが棲息する「ウサギ島」として知られ、国内外からの観光客で賑わっています。 大久野島灯台は、安らぎを与えてくれるウサギ達と悲しい歴史を感じながら、瀬戸内海を見守りながら崖の上に立つ小さな灯台です。			
情報源	竹原市HPひろしま竹原観光ナビ、恋する灯台プロジェクトHP		（情報提供：広島県）

⑧	R185 さざなみ海道	湾・灘名	燧灘
分類	道路	所在地	広島県竹原市
国道 185 号をメインの骨格ルートとし、枝線となる清盛街道・杜氏のふる里ロード・スナメリロード等をサブ骨格ルートとして、島しょ部を含めた国道 185 号沿線一帯をエリアとしています。 野呂山（呉市）や黒滝山（竹原市）、筆景山（三原市）など瀬戸の多島美が一望できる自然景観資源や大和ミュージアム（呉市）、万葉の里（東広島市）、町並み保存地区（伝統的建造物群保存地区・竹原市）などの歴史文化資源が数多くあります。 竹原市の「街道エデン」は忠海町の歴史ある町並みとしまなみ海道を展望でき、パーキングエリア兼展望場所である「エデンの海」は同名小説の舞台となった場所で、綺麗な海と瀬戸の多島美が展望できます。			
情報源	日本風景街道HP （情報提供：広島県）		



⑨	安芸灘とびしま海道	湾・灘名	安芸灘
分類	橋梁・道路	所在地	広島県呉市
呉市の南東に広がる安芸灘に、7つの橋でつながる7つの島で構成された島しょ部があります。海に浮かぶ島々を庭園の飛び石にたとえて「安芸灘とびしま海道」と呼ばれています。 昭和 54 年（1979）の蒲刈大橋開通に始まり、平成 20 年（2008）の豊島大橋開通までの約 30 年間に建設されたこれらの橋は、下蒲刈島から岡村島（愛媛県今治市）までの島々と本土とを陸続きにしました。 橋の完成により、島々に住む人々の生活が便利になるとともに、農水産物などの物流も促進され、地域の賑わいが増しました。 また、それぞれの島が育んできた歴史や文化を巡る観光スポットとして、瀬戸内の多島美や柑橘の段々畑の景観を眺めながらのドライブ・サイクリングコースとして、多くの人が周遊するルートとなっています。			
情報源	呉市HP （情報提供：広島県）		



⑩	おんど 音戸の瀬戸	湾・灘名	安芸灘・広島湾
分類	橋梁・道路 航路	所在地	広島県呉市
その昔、平清盛が切り開いたと云われる音戸の瀬戸。潮の流れが急で開削工事が難航した時、清盛が扇で沈む夕陽を招き返し、工事を完成させたという「日招き伝説」が残されています。 古くから安芸灘と広島湾を結ぶ海上交通の要所として知られており、現在も多く漁船やフェリーが、狭い瀬戸を行き交う様子を見ることができます。また、瀬戸を渡る音戸の渡し船は日本一短い航路と言われ、急潮を行く姿が民謡「音戸の舟唄」にも唄われており、今も歩行者や自転車のための日常の交通手段として利用されています。 現在の瀬戸には音戸大橋と第二音戸大橋が架けられており、赤いふたつのアーチ橋が並ぶ眺めは、音戸のシンボルとも言える景観となっています。			
情報源	呉市HP （情報提供：広島県）		



⑪	元宇品海岸	湾・灘名	広島湾
分類	港湾	所在地	広島県広島市
瀬戸内海国立公園に指定されている元宇品では、その多様な植生の樹林や自然海岸などにより特徴付けられた瀬戸内海の自然を望むことができます。   元宇品海岸から見た瀬戸内海 元宇品海岸から見た宇品燈台			
情報源	Viewtiful!ひろしま（広島市発行）		（情報提供：広島市）

⑫	宮島口地区	湾・灘名	広島湾
分類	港湾・航路	所在地	広島県廿日市市
宮島口地区は世界遺産である宮島の玄関口としてふさわしい和をイメージさせる景観となるよう、平成31年3月に「宮島口地区景観ガイドライン」を策定し、良好な景観形成に努めています。令和2年4月に当該地区を景観地区に決定しました。  			
情報源	廿日市市 HP		（情報提供：広島県）

⑬	鳴門スカイライン	湾・灘名	紀伊水道・播磨灘（鳴門海峡）
分類	道路	所在地	徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字亀浦
渦潮で知られた鳴門海峡、波静かな瀬戸内海、風向の良いウチノ海、堀越海峡及び、小鳴門海峡の二つの瀬戸を渡るドライブコース。途中七つの橋があり、山と海の素晴らしい景色を眺めることができます。スカイラインのほぼ中央に位置する四方見展望台からは、ウチノ海の美しい景色を眺めることができます。 			
情報源	徳島県観光情報サイト阿波ナビ		（情報提供：徳島県）

⑭	大鳴門橋（千畳敷展望台から）	湾・灘名	紀伊水道・播磨灘（鳴門海峡）
分類	橋梁	所在地	徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦福池
大鳴門橋は渦潮で有名な鳴門海峡を渡る中央支間876mの吊り橋。完成時は上部に6車線自動車専用道路。下部に新幹線規格の鉄道を備えた2階建構造となるが、現在は道路4車線が供用されており、将来は道路2車線と鉄道2車線を追加できる構造となっている。最も近い展望所である千畳敷展望台からは、鳴門海峡の絶景と迫力満点の大鳴門橋の姿をみることができます。 			
情報源	JB本四高速HP		（情報提供：徳島県）

⑮	高松港玉藻防波堤灯台（せとしるべ）	湾・灘名	播磨灘
分類	灯台	所在地	香川県高松市
サンポート高松のシンボル高松港玉藻防波堤灯台、通称「せとしるべ」は、約 1600 個のガラスブロックでできた世界初の総ガラス張り灯台で、高さは 14.2 メートル。夜には内部からの光の照射で灯台全体が赤く輝きます。 当初は高松港西防波堤灯台として昭和 39 年 12 月 28 日に初点灯され、全体が朱色であることから「赤灯台」として親しまれてきました。平成 10 年には、サンポート高松造成による防波堤の伸長に伴い、現在の場所に移設されました。以来、高松港のランドマークとして、港を出入りする船舶の航行の安全を見守っています。 平成 28 年 8 月に、日本ロマンチスト協会から「恋する灯台」に、平成 28 年 10 月には夜景コンベンション・ビューローから「日本三大夜灯台」に、令和元年 9 月には「日本夜景遺産」にそれぞれ認定されるなど、全国的に高い評価を受けています。			
情報源	うどん県旅ネット		（情報提供：高松市）



⑯	男木島灯台	湾・灘名	播磨灘
分類	灯台	所在地	香川県高松市
男木島灯台は、瀬戸内の名産である庵治石を利用し、1895 年（明治 28 年）に建造されました。この灯台は、非常に長い間、雨風と潮風にさらされながらも、現代に立派な姿を伝えてくれています。水を通しにくく風化に強い性質や、独特な模様などで名高い庵治石は、男木島灯台を他灯台と一線を画したものにしています。また、日本で 2 基しかない無塗装灯台であるのも、この庵治石の丈夫さが大きく貢献しています。現在、多くの灯台がコンクリート製である中、総御影石造りの灯台は非常に貴重であり、全国 23 基の A ランク保存灯台に認定されています。 1957 年（昭和 32 年）には、映画「喜びも悲しみも幾年月」のロケ地となりました。120 年の歴史をもつ、全国的にも珍しい無塗装、庵治石造りの灯台は、「日本の灯台 50 選」にも選ばれています。			
情報源	うどん県旅ネット		（情報提供：高松市）



⑰	来島海峡大橋	湾・灘名	燧灘
分類	橋梁・道路	所在地	愛媛県今治市
1999 年に供用となった来島海峡大橋は、今治と大島の約 4 km を 3 つの吊橋で結ぶ、世界初の三連吊橋です。 日没後のライトアップも行われており、幻想的な風景を楽しむことができます。			
情報源	今治商工会議所発行「いまばり博士」いまばり検定公式ガイドブック		（情報提供：愛媛県）



⑱	一般県道山内吉富線外	湾・灘名	周防灘
分類	橋梁・道路	所在地	福岡県築上郡吉富町
本地区は、一般国道10号と一般県道中津豊前線を南北に結ぶ山内吉富線を中心とした市街地となっています。山内吉富線の沿線にはケヤキが植えられケヤキ通りと呼ばれており、閑静な住宅地を形成しています。 近年、社会経済や生活様式の成熟に伴い、経済中心の考え方から生活環境の整備といったような、質を重視した視点での住民ニーズが高まっています。特に生活空間の分野では、都市景観を整備し、誇りをもって次の世代に継承していけるような個性豊かで美しい街を保全、創造することが求められるようになっていきます。そのような背景のもと、地元関係者や住民の主体的な参画を図り、単なる景観形成によるハード整備にとどまらず、景観に対する企業や住民意識の醸成や地域及び郷土に対する愛護意識の高まりへとつながり、本県における美しいまちづくりの推進に寄与しています。			
情報源	(情報提供：福岡県)		



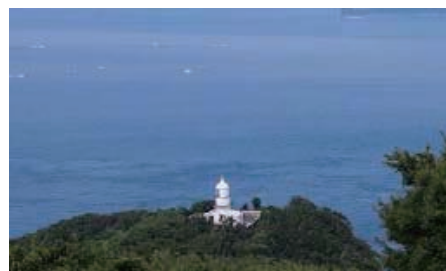
⑲	航空自衛隊築城基地	湾・灘名	周防灘
分類	航路	所在地	福岡県築上郡築上町西八田
周防灘に面した所にある、航空自衛隊築城基地。 例年、約5万人がおとずれる築城基地航空祭は、人気のイベントです。			
情報源	築上町観光協会ホームページ (情報提供：福岡県)		



⑳	西大分港	湾・灘名	伊予灘（別府湾）
分類	港湾	所在地	大分県大分市
西大分港周辺地区は、別府湾を背景にめぐまれた自然環境を有していることから「大分市景観計画」においても重点地区として位置付けられています。			
情報源	大分市 HP (情報提供：大分市)		



㉑	関埼灯台	湾・灘名	豊後水道（瀬戸内海）
分類	灯台	所在地	大分県大分市
瀬戸内海と外洋を結ぶ速吸瀬戸は、潮流は激しく渦巻き、暗礁も多く航海の難所ですが、航海の道しるべとして関埼灯台が明治34年（1901）に設置、点灯されました。また、平成21年2月にLED（発光ダイオード）化され環境にやさしい灯台となりました。			
情報源	大分市観光協会 HP (情報提供：大分市)		



(4) 建築・町並み景観

古くから人々が暮らす瀬戸内には信仰にまつわる寺社仏閣が多数存在している。飛鳥時代に鎮座し平安時代から長く信仰を集めている厳島神社の海上社殿は、人造海浜の上に建造したもので創建した平清盛は日本の海洋土木の創始者ともいわれており、神戸港の元となった福原の大輪田泊なども整備した。大型木造建築物は奈良や京都など近畿地方に集中していたが、鎌倉時代末期以降は、瀬戸内沿岸地方が中国・朝鮮半島との国際交易により港町が経済的に繁栄したことにより、建築文化の中心が瀬戸内地方に移った。瀬戸内尾道の天寧寺五重塔、浄土寺多宝塔、福山の明王院などは京都・奈良に比べ華やかなで先進的・国際的で国宝も多い。また、流通の大動脈である瀬戸内航路の船乗りの信仰を集めた大阪の住吉さんや香川金の毘羅さん、海神・武新・農新等多様な信仰で知られる芸予諸島の三島さんなど多くの信仰にまつわる建築物が見られる。

都市（街）は、室町時代までは、海外との交易や年貢米の積出しとして栄えた港町に限定されており、尾道、鞆の浦、堺などの港を中心に栄えた。桃山時代から戦国時代を経て武士が台頭し、城下町が各所に誕生した。城下町は城を中心に、侍屋敷、町屋敷が形作られ、現代の都市の起源となった。やや遅れて、主要街道沿いに宿場町が、また有力な社寺の門前には、参詣客を目当ての門前町が形成された。これらの瀬戸内の伝統的な町屋には雨避けや防火のために漆喰壁やその剥離を防ぐ海鼠壁が施され、更に江戸時代に入り政情の安定と文化の洗練により表構えに蔀戸や格子がデザインされ、地域独特の町並み景観を生み出した。近年、地域独特の町並みを景観法により保全・形成し、景観に配慮した街づくりが各地で行われ、保全とともに、新しい景観も生まれている。

瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観の事例のうち建築・町並みに関して収集した結果を図2-4、表2-4-1、2-4-2に示す。



図2-4 建築・町並み景観

※湾・瀬の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第13条第1項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表 2-4-1 建築・町並み景観 事例一覧

4 建築・町並み景観				分類						紹介根拠							キーワード
府県名	番号	名称	湾・灘名	①	②	③	④	⑤	⑥	A	B	C	D	E	F	G	
				寺社・仏閣	建築物	アート	集落	都市	その他	社会的に認知	価値がある	インスタ映えがする	〇〇百選	文化財・重要伝統的建築物	映画等の舞台	その他	
兵庫県	①	神戸ポートタワー	大阪湾		○					○		○					
	②	旧居留地	大阪湾		○					○	○	○					
	③	おのころ島神社	播磨灘	○						○		○					
	④	住吉神社	播磨灘	○							○	○		○			
	⑤	坂越のまち並み	播磨灘				○			○	○	○	○	○			A、B、C、D (都市景観 100 選、景観形成地区 ひょうごの景観ビ ューポイント 150 選) E (荒波を越えた 男たちの夢が紡い だ異空間～北前船 寄港地・船主集 落：日本遺産認 定)
	⑥	伊和都比売神社境内	播磨灘	○						○		○	○				日本の夕陽百選
和歌山県	⑦	友ヶ島	紀伊水道・大阪湾		○				○	○		○		○			戦前の砲台跡が残る無人島
	⑧	加太春日神社	紀伊水道	○						○		○		○			国指定重要文化財
	⑨	淡嶋神社	紀伊水道	○						○		○					人形奉納の神社
	⑩	絶景の宝庫 和歌の浦	紀伊水道	○	○		○			○		○	○	○			日本遺産
	⑪	湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区	紀伊水道				○			○	○	○		○		○	美しい日本の歴史的風土準 100 選
岡山県	⑫	真鍋島本浦地区	備讃瀬戸				○			○	○	○	○		○		晴れの国おかやま景観百選、映画「瀬戸内少年野球団」「獄門島」、猫の島
	⑬	下津井の町並み保存地区と干し蛸	備讃瀬戸				○			○	○	○	○		○		町並み保存地区、晴れの国おかやま景観百選、映画「釣りバカ日誌」「ひるね姫」、下津井駅跡
	⑭	むかし下津井回船問屋	備讃瀬戸		○					○							北前交易で財を成した旧回船問屋を整備した施設
	⑮	旧柚木家住宅 (西爽亭)	備讃瀬戸		○					○				○			往時の港町の繁栄を物語る旧家

4 建築・町並み景観				分類						紹介根拠							キーワード
府県名	番号	名称	湾・灘名	① 寺社・仏閣	② 建築物	③ アート	④ 集落	⑤ 都市	⑥ その他	A 社会的に認知	B 価値がある	C インスタ映えがする	D 〇〇百選	E 文化財・重要伝統的建築物	F 映画等の舞台	G その他	
広島県	⑯	とち 鞆の町並み	備讃瀬戸・備後灘	○	○		○			○	○	○	○	○	○		日本遺産、ふくやま景観 100 選
	⑰	尾道駅前の海辺の遊歩道	備後灘						○	○							
	⑱	たけはら町並み保存地区	燧灘						○	○	○	○	○	○	○		重要伝統的建造物群保存地区、H12 年都市景観 100 選、2007 年美しい日本の歴史的風土準 100 選
	⑲	つか 柄酒造	燧灘		○										○		
	⑳	榊山八幡神社	燧灘	○										○			
	㉑	みだら 御手洗のまちなみ	安芸灘				○			○	○	○	○	○	○		
	㉒	さんのせ 三之瀬地区	安芸灘		○					○	○	○		○			
	㉓	海上自衛隊第 1 術科学校・幹部候補生学校庁舎	広島湾		○					○				○			
徳島県	㉔	あわい 阿波井神社	紀伊水道	○						○			○				未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選
香川県	㉕	しわくほんじまちようかさしま 塩飽本島 町 笠島 重要伝統的建造物群保護地区	備讃瀬戸				○			○	○	○		○	○		
	㉖	「多度津町多度津」の伝統的町並み	備讃瀬戸				○				○			○		○	近代化産業遺産群、土木遺産、日本遺産
愛媛県	㉗	きろうさん 亀老山展望台	燧灘		○					○		○				○	旅好きが選ぶ！日本の展望スポットランキング 2017」第 2 位
	㉘	くじょう 具定展望台	燧灘					○					○				日本の夜景 100 選・夜景遺産認定地
	㉙	そとどまり 外泊石垣の里	豊後水道				○			○	○	○	○				未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選
福岡県	㉚	ふぜんしょうえ 豊前松江駅	周防灘						○							○	駅から海の景色を楽しめる

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第 13 条第 1 項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表2-4-2 建築・町並み景観事例

①	神戸ポートタワー	湾・灘名	大阪湾
分類	建築物	所在地	兵庫県神戸市
「神戸ポートタワー」は、神戸港振興協会の初代会長であり、第 7 代神戸市長であった原口忠次郎氏が神戸港の振興・発展を図ると共に、日本の経済・産業の発展のための海運・貿易の伸長、そしてその基盤となり重要な役割を担う港湾機能の整備拡張計画が求められる中、「日本を代表する神戸港に相応しいランドマークを」の想いのもと、1963 年に建設された展望用のタワーです。 昭和から平成、20 世紀から 21 世紀へと、港街「神戸」と共に時の流れを渡る「神戸ポートタワー」は、神戸市民をはじめ、観光やビジネスで神戸を訪れる多くの人々に愛され、開業以来 50 有余年に渡って中突堤に佇み神戸のランドマークとなっています。			
情報源	神戸市公式観光サイト Feel KOBE より抜粋		(情報提供：兵庫県)

②	旧居留地	湾・灘名	大阪湾
分類	街並み景観	所在地	兵庫県神戸市
居留地は神戸港の開港とともに、外国人が住み、働く場所として、建設されました。ヨーロッパの近代都市計画技術を使い、格子状街路、街路樹、公園、街灯、下水道などが建設され、敷地は 126 区画に分割されました。この形状は、現在も変わっていません。 レトロモダンな近代建築物は、レストランやカフェなどとしても使用され、今もなお異国情緒あふれる街並みがみられます。			
情報源	神戸市公式観光サイト Feel KOBE より抜粋		(情報提供：兵庫県)

③	おのころ島神社		湾・灘名	播磨灘
分類	寺社・仏閣		所在地	兵庫県南あわじ市
おのころ島神社は、古代の御原入江の中にあって伊弉諾命・伊弉冉命の国生みの聖地と伝えられる丘にあり、古くから「おのころ島」と親しまれ崇敬されてきました。 古事記・日本書紀によれば「神代の昔国土創世の時、二神は天の浮橋にお立ちになり、天の沼矛を持って海原をかき回すに、その矛より滴る潮がおのずと凝り固まって島となる、これが自凝島である。二神はこの島に降り立たれ、八尋殿（やひろでん）を建て 先ず淡路島を造り次々と大八洲（おおやしま）を拓かれた」と記されています。 本島神社には伊弉諾命・伊弉冉命の二神がお祀りされており、縁結び、安産の神として知られています。また、昭和 57 年 3 月に建立された、高さ 21.7mの朱塗りの大鳥居が目を引きます。				
				
情報源	おのころ島神社 HP、南あわじ市 HP			(情報提供：兵庫県)

④	住吉神社	湾・灘名	播磨灘
分類	寺社・仏閣	所在地	兵庫県明石市
住吉神社は、雄略8年（464年）4月初卯日に住吉大神を勧請したのが始まりで、海路の神として古来より崇敬を受けてきた神社です。境内には、初代明石城主・小笠原忠真が寄進した能舞台（明石市指定文化財）や、慶安元年（1648年）に建立された豪壮な二階造りの楼門など、歴史のある文化財が多数存在します。海辺の松林にかこまれ、春にはフジ、初夏にはアジサイが咲く花の名所でもあり、晴れた日に播磨灘を望むと小豆島まで見わたせ、四季折々、異なる表情を見せ、海面に映る夕陽はすばらしいビューポイントでもあります。			
情報源	住吉神社 HP、（一社）明石観光協会 HP、明石市 HP		（情報提供：兵庫県）



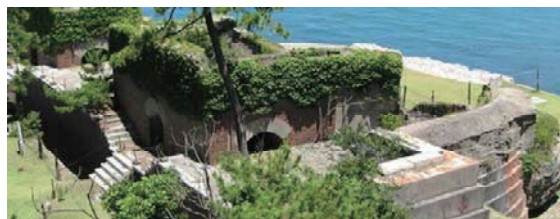
⑤	坂越のまち並み	湾・灘名	播磨灘
分類	集落	所在地	兵庫県赤穂市
坂越地区は、景観形成地区に指定されており、石畳でできた坂越大道、その両側には奥藤邸とその酒造や、旧奥藤銀行を改装した坂越まち並み館をはじめとした歴史ある建物が立ち並んでいます。赤穂市では、坂越地区の魅力ある都市景観の保全を図るため、都市景観形成助成事業を行っています。 坂越は、弧を描く特徴的な地形の坂越湾と、湾内に浮かぶ生島によって、天然の良港で、江戸時代に繁栄した北前船の寄港地として栄えました。その当時の面影を色濃く残す風情ある坂越のまち並みは、平成30年5月に日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成文化財に認定されました。 また、住民団体（坂越のまち並みを創る会）が中心となり観光ガイドや、地区の美化活動を行うとともに、北前船寄港地坂越浦コンサートや坂越浦ふれあいウォークなど、日本遺産認定を契機にまち並み景観を活かした取り組みを進めています。			
情報源	赤穂市歴史文化基本構想（「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP）、都市景観形成助成事業のあらまし（パンフレット）、日本遺産・坂越浦（HP）		（情報提供：兵庫県）



⑥	伊和都比売神社境内	湾・灘名	播磨灘
分類	寺社・仏閣	所在地	兵庫県赤穂市
御崎はかつての東浜塩田での製塩を栄えた人々の暮らした村（新浜村）であり、塩田をできる限り広く確保するため「坂のまち」をつくり出しました。 伊和都比売神社は市内唯一の式内社で、祭神は伊和都比売大神。かつては瀬戸内海に浮かぶ置岩上にあったものが、新浜村の鎮守として現在地に遷されたといわれます。境内には瀬戸内海沿いに鳥居が築かれ、瀬戸内海を望む素晴らしい景観を見せています。			
情報源	赤穂市歴史文化基本構想（「兵庫県赤穂市の歴史文化」HP）		（情報提供：兵庫県）



⑦	友ヶ島	湾・灘名	紀伊水道・大阪湾（紀淡海峡）
分類	その他	所在地	和歌山県和歌山市
和歌山市北西加太沖に浮かぶ無人島群。瀬戸内海国立公園の紀淡海峡に浮かぶ沖ノ島（おきのしま）・地ノ島（じのしま）・虎島（とらじま）・神島（かみじま）。この4島を総称して友ヶ島と呼んでいます。戦前の砲台跡が点在する一方で、緑深い照葉樹林が繁り、様々な植物・磯の生きものなどが生息する自然の宝庫です。 友ヶ島は大阪湾を守る要衝として、旧陸軍により由良要塞の拠点として大規模に整備されました。大きな大砲を島内のあちこちに備え、約600人の兵隊が駐屯する要塞となり、第2次世界大戦が終わるまで一般人の立ち入りができませんでした。 現在では、砲台跡や自然の残る無人島として観光やハイキングで多くの方が訪れています。			
情報源	和歌山市役所 HP （情報提供：和歌山市）		



⑧	かだかすが 加太春日神社	湾・灘名	紀伊水道（加太湾）
分類	寺社・仏閣	所在地	和歌山県和歌山市
国指定の重要文化財である本殿は、慶長元年（1596）に豊臣（羽柴）秀吉の弟・秀長の家臣である桑山重晴が建立したことが棟札に記された「桑山修理亮正榮」によって知られています。 墓股の彫刻には、龍、虎、唐獅子などの他に加太の地域性を示した「海老」や「貝」などが表現されています。海の恵みが題材にされていることは珍しく、多彩な題材が実に生き生きと表現されています。「えび祭り」の名で親しまれている例大祭渡御祭は5月の第3土曜日に行われます。古くは旧暦の4月20日に行われ、この日からえび漁が解禁されたと言われています。 加太地区は漁家が多いゆえ、信仰心が篤く神様を慰めると共に、悪を祓い身を浄めようとする心が強く、例大祭の渡御に供奉する獅子舞などは、古くから重要な役割を果たしています。			
情報源	和歌山市役所 HP （情報提供：和歌山市）		



⑨	淡嶋神社	湾・灘名	紀伊水道（加太湾）
分類	寺社・仏閣	所在地	和歌山県和歌山市
毎年3月3日、全国から奉納された内裏雛を白木の小舟に乗せて海に流す神事「雛流し」が行われる淡嶋神社。境内には、奉納された様々な人形がぎっしりと並んでいます。薬の神様とされる少彦名命（すくなひこなのみこと）を祭神とし、婦人病や安産・子授け祈願など「女性のための神様」として昔から信仰されています。 『日本書記』に記されている「三韓征伐」の帰途、瀬戸の海上で突然の嵐に遭遇した神功皇后が船中で祈りを捧げたところ無事にある島（友ヶ島）に辿り着き命拾いをし、三韓渡来の宝物を島に奉納しました。数年後、孫である仁徳天皇が友ヶ島に狩りに来られた際、島にあった社を対岸の加太に移したものが現在の淡嶋神社といわれています。			
情報源	和歌山市役所 HP （情報提供：和歌山市）		



⑩	絶景の宝庫 和歌の浦	湾・灘名	紀伊水道（和歌浦湾）
分類	寺社仏閣、建築物、集落	所在地	和歌山県和歌山市
和歌の浦は和歌山市南部と海南市北部に位置する和歌浦湾をとり巻く景勝地です。和歌川の河口に広がる干潟を中心に、南は熊野参詣道・藤白坂から西は紀伊水道に面した雑賀崎までの絶景の宝庫です。 奈良時代にこの地を訪れた聖武天皇が、玉のように美しく島々が連なる眺望に感動して詔を発し、玉津島の神と明光浦霊を祀り、この風景を末永く守るように命じました。また、この地を詠んだ歌が古今和歌集でとり上げられたことから、和歌の神が祀られ、やがて「和歌の浦」と呼ばれるようになりました。 2017年に「絶景の宝庫和歌の浦」として文化庁の日本遺産に認定されています。			
情報源	日本遺産「絶景の宝庫和歌の浦」HP		（情報提供：和歌山市）



⑪	湯浅町湯浅の町並み	湾・灘名	紀伊水道
分類	集落	所在地	和歌山県湯浅町
湯浅町湯浅は、平成18年12月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された町並みである。 近世以降、醤油醸造を中心に栄えた商工業都市の姿を受け継ぎ、比較的広い「通り」とその間を走る「小路」と呼ばれる狭い街路によって構成される空間に、かつて醤油醸造業を営んでいた家の主屋や土蔵が残されている。 平成29年には日本遺産『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』が認定された。			
情報源	湯浅町HP		（情報提供：和歌山県）



⑫	真鍋島 ^{ほんうら} 本浦地区	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	集落	所在地	岡山県笠岡市真鍋島
平安時代末期には、藤原氏の一族が水軍の根拠地を置いて真鍋氏を名乗り、全盛期には付近の島々をことごとく支配下に治めていたという説や、源平合戦で平家方に属した真鍋氏の城趾や供養のために建てたと伝えられる石造宝塔などの史跡があり、また西行法師の「山家集」に詠まれるなど、歴史を今に伝える記録や史跡・行事の多さは、笠岡諸島でも随一です。 港には石積みの堤防や、のどかな漁村の佇まいが多く残っており、そのため岡山県のふるさと村に指定されています。その景観が映画業界関係者も魅了したのか、「瀬戸内少年野球団」など多くの映画のロケ地にも選ばれています。 猫の島とも知られており、島猫目当ての観光客も多く訪れています。			
情報源	NPO 法人かさおか島づくり海社 HP、公益財団法人岡山県観光連盟		（情報提供：岡山県）



写真提供：岡山県観光連盟

⑬	下津井の町並み保存地区と干し蛸		湾・灘名	備讃瀬戸
分類	集落 ・ その他	所在地	岡山県倉敷市下津井	
倉敷市の南端、瀬戸大橋の麓にある下津井は、江戸時代には北前船の寄港地として大いに賑わいました。漆喰壁に本瓦葺きの町家など、岡山県の「町並み保存地区」に選定された港町独特の町並みが続きます。冬には、全国的にも有名な「下津井ダコ」の足を広げ、寒風に晒す『干しダコ』の姿が見られ、冬の風物詩となっています。 エリア内にある「むかし下津井回船問屋」は、明治時代の回船問屋の建物を復元した資料館。母屋など当時の商家の様子がうかがえるほか、下津井にまつわる資料の展示や、地元特産物の販売、食事処もあります。 祇園神社から下津井の町並みと瀬戸大橋を眺めるもよし、むかし下津井回船問屋で下津井の歴史を学ぶもよしと、瀬戸内海の港町の風情を満喫できる地域です。				
  				
情報源	倉敷市観光情報発信協議会（倉敷観光 WEB） 倉敷市（倉敷市観光パンフレット）岡山県広域水産業再生委員会			（情報提供：岡山県）

⑭	むかし下津井回船問屋		湾・灘名	備讃瀬戸
分類	建築物	所在地	岡山県倉敷市	
明治時代の回船問屋の建物を復元した資料館です。主屋など当時の商家の様子がうかがえるほか、下津井にまつわる資料の展示や、地元特産物の販売、食事処もあります。				
				
情報源	倉敷市HP		(情報提供：倉敷市)	

⑮	旧柚木家住宅（西爽亭） さいそうてい		湾・灘名	備讃瀬戸
分類	建築物	所在地	岡山県倉敷市	
備中松山藩に諸役として仕えた柚木家の旧宅。江戸中期の建築といわれ、藩主御成りの屋敷であった風格ある造りや構えには格別の趣が見られます。 また幕末に朝敵となった藩の全責任を負い、藩老熊田恰（くまたあたか）が自刃した屋敷でもあります。				
情報源	倉敷市HP		(情報提供：倉敷市)	

①⑥	とちの町並み	湾・灘名	備讃瀬戸・備後灘
分類	集落、建築物	所在地	広島県福山市
万葉の時代から潮待ちの港として栄え、常夜灯や雁木など江戸期の港湾施設が現存しています。 かつての回船問屋や商家が並んだ格子戸と白壁の土蔵もそのまま残り、港町独特の風情を醸し出しています。 また、重要伝統的建造物群保存地区の指定及び日本遺産に登録されています。			
 			
情報源	日本遺産、ふくやま景観100選		(情報提供：広島県)

①⑦	尾道駅前の海辺の遊歩道	湾・灘名	備後灘
分類	その他（海辺の遊歩道）	所在地	広島県尾道市
尾道市の駅前に緑地公園があり海岸に沿って、ウッドデッキ状の遊歩道がある。管理道としての機能を持ちつつ、市民や観光客の憩いの場としても利用されている。護岸整備の際にコンクリート壁で整備されるのが通常ですが、景観の重点地区でもある駅前なので、景観に配慮して自然になじむ色合いに整備されました。			
			
情報源	尾道観光協会 HP		(情報提供：広島県)

①⑧	たけはら町並み保存地区	湾・灘名	燧灘
分類	町並み	所在地	広島県竹原市
竹原市は平安時代、京都・下鴨神社の荘園として栄えた歴史から「安芸の小京都」と呼ばれ、そのシンボルといえるのが、落ち着いた風情を漂わす町並み保存地区です。 製塩地として飛躍的に発展した江戸時代、豊かな経済力を背景に多くの優秀な学者を輩出し、塩田と町人文化が生んだ重厚な家々は、今日まで往時の姿を伝えています。 その古いたたずまいは、歴史的街区として昭和 57 年（1982）に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、また、棒瓦と格子窓の街並みは平成 19 年（2007）に美しい日本の歴史的風土 準 100 選に選ばれました。			
			
情報源	竹原市HPひろしま竹原観光ナビ		(情報提供：広島県)

①⑨	つかの酒造	湾・灘名	燧灘
分類	建築物	所在地	広島県東広島市
東広島市安芸津で創業 160 年。三浦仙三郎の軟水醸造法を受け継ぎ、少量生産で目の行き届く酒造りを続けています。原料はすべて広島県産酒造好適米を使い、麴造りは麴蓋（こうじぶた）に米麴を入れて混ぜる蓋麴（ふたこうじ）という方法で行っています。麴蓋には一升ほどの麴しか入らず手間がかかりますが、上級酒向きの丁寧な方法です。 2018 年公開の映画「恋のしずく」のロケ地にもなりました。			
			

⑳	榊山八幡神社	湾・灘名	燧灘
分類	神社・仏閣	所在地	広島県東広島市
シイノキやコバンモチなど樹木の生い茂る、海を望む小高い丘にたつ神社です。境内には、軟水醸造法を発明し、広島酒造りの基礎を築いた三浦仙三郎の銅像や彼の寄進した酒甕の石造物などがあり、酒造りとも関係の深い神社です。			
情報源	東広島市「観光・イベント情報」HP		(情報提供：広島県)

㉑	御手洗のまちなみ	湾・灘名	安芸灘
分類	集落	所在地	広島県呉市
呉市豊町御手洗地区は、古くから瀬戸内海を行く船の潮待ち・風待ちの港でした。集落として形成された17世紀の中頃以来、江戸時代の約200年間を経て昭和初期に至るまで、瀬戸内海交通の中継港として、時代時代に応じた発展を示し、その痕跡を今も集落内に留めています。 土地が狭いため数度にわたって埋め立てられた御手洗は、大小の商家・茶屋・船宿・住宅・神社・寺院が混在し、集落中心路・集落連絡路・集落生活路（小路）などが網の目のように巡っています。また、大波止・石橋・高燈籠・石垣護岸・雁木など、港町の生活上必要な土木建造物が当時のまま現存しているものもあります。平成6年に国重要伝統的建造物群保存地区に選定されたほか、地区内には県および市の文化財として指定された建造物・史跡が数多く存在し、時代ごとに繁栄した港町の歴史と景観を今に伝えています。			
情報源	呉市HP，文化庁HP		(情報提供：広島県)

㉒	三之瀬地区	湾・灘名	安芸灘
分類	建築物	所在地	広島県呉市
安芸灘に浮かぶ下蒲刈島は、古くから瀬戸内海航路の要衝でした。江戸時代初期、福島正則が下蒲刈町三之瀬に海駅を設け、その後、広島浅野藩が公の繋船場として番所や本陣の御茶屋を常備し、参勤交代をする西国大名の船をはじめ、各国の使節が立ち寄る港町となりました。 特に、朝鮮通信使の来日に際しては、藩の接待所・玄関口として一行を大歓迎し、ふるまわれた豪華な料理をはじめとしたもてなしが「安芸蒲刈御馳走一番」といわれたほどであったことが記録に残されています。 現在では史跡として三ノ瀬御本陣跡・三ノ瀬朝鮮信使宿館跡・蒲刈島御番所跡を残すのみですが、外観を復元した資料館・美術館が建ち並び、日本建築と石畳のまちなみの景観が形成されています。			
情報源	呉市HP		(情報提供：広島県)

②③	海上自衛隊第 1 術科学校・幹部候補生学校庁舎		湾・灘名	広島湾
分類	建築物	所在地	広島県江田島市	
通称「赤レンガ」と呼ばれ全国的に有名な幹部候補生学校庁舎は、日清戦争の前年、明治26年（1893）に海軍兵学校生徒館としてその生活・教育のため建築されました。 設計は、東京築地にあった兵学校生徒館も手がけたイギリス人建築家によるものであります。屋根は建築当初は日本瓦葺でしたが、明治38年の安芸灘地震後にスレート葺とされました。				
情報源	第一術科学校 HP		(情報提供：広島県)	

②④	阿波井神社		湾・灘名	紀伊水道（小鳴門海峡）
分類	神社	所在地	徳島県鳴門市瀬戸町堂浦阿波井 56	
徳島県鳴門市瀬戸町堂浦に鎮座する神社で、未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選に選定されている。10月の第3日曜日に開かれる例祭では餅投げなどのほか、神輿を担いで町中を練り歩き、そのまま小鳴門海峡に入る様子を見ることができる。				
情報源	全国観光情報サイト観るなび		(情報提供：徳島県)	

②⑤	しわくほんじまちょうかさしま 塩飽本島 町 笠島重要伝統的建造物群保存地区		湾・灘名	備讃瀬戸
分類	集落	所在地	香川県丸亀市	
伝統的建造物の保存修理については、旧材料で利用できるものは再使用するとともに、改造されたところは復元をしながら建物の保存修理を行い、文化庁の伝統的建造物に指定されている建物以外のものや、新たに建築される建物について、屋根は傾斜屋根の日本瓦葺、外壁を漆喰塗や焼杉板張り、建具を古色塗り木製とし、壁面線を統一するなど「保存計画」に基づいて、周囲の伝統的建造物に調和するよう修景整備を実施し歴史的町並みの保全に努めています。また、道路の美装化や小公園や緑地等の整備を行い歴史的景観に調和した整備や地元住民や観光客が活用できる空間整備も実施しています。				
				
情報源	丸亀市 HP		(情報提供：香川県)	

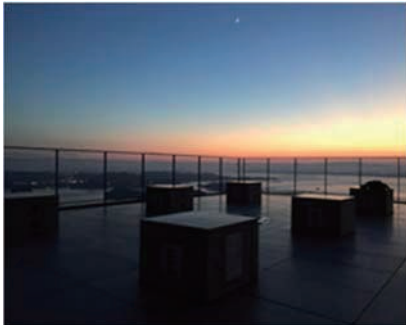
②6	「多度津町多度津」の伝統的町並み		湾・灘名	備讃瀬戸
分類	集落	所在地	香川県仲多度郡多度津町	
多度津港は天保年間に実施された「多度津湛浦の大工事」により、瀬戸内有数の良港となり、北前船や金刀比羅宮参拝客の中継地として繁栄しました。 現在でも当時の商人の邸宅や土蔵、金刀比羅宮参拝客のための石灯籠や港湾の一部が現存しており、これらは町歩きなどのイベントでの活用や有志による維持管理等が行われています。 港湾の遺構についてはその一部が土木遺産や近代化産業遺産群に認定されているほか、本年5月にはこれらの町並みが文化庁による「日本遺産」に追加認定されています。				
				

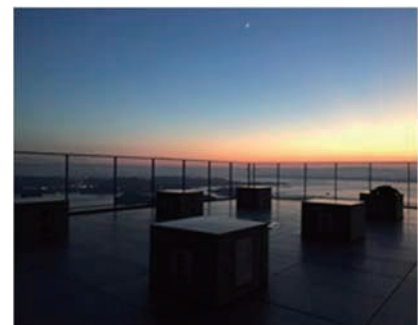


※写真は担当者撮影

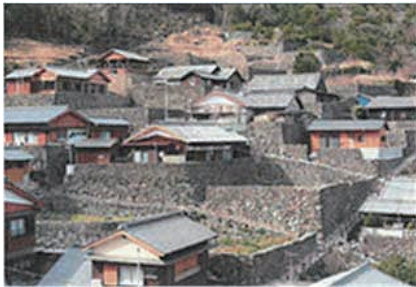
情報源 多度津町 HP 多度津町観光協会 HP 多度津商工会議所 HP

(情報提供：香川県)

②⑦	亀老山展望公園 きろうさん	湾・灘名		燧灘
分類	建築物	所在地	愛媛県今治市	
標高 307.8mの亀老山展望公園は、大島の南端に位置し、瀬戸内海国立公園に指定されています。隈研吾氏による設計として知られるパノラマ展望台ブリッジからは、世界初三連吊橋「来島海峡大橋」と日本三大急潮のひとつ「来島海峡」の潮流、晴れた日には西日本最高峰「石鎚山」を眺める事ができます。 また、定期的に行われる来島海峡大橋のライトアップや今治市街の夜景も必見です。Trip Advisor 発表の「旅好きが選ぶ！日本の展望スポット ランキング 2017」にて第 2 位に輝きました。 2017 年、「亀老山山頂から望む来島海峡」が四国八十八景に選定されました。				
情報源	今治市 HP			
(情報提供：愛媛県)				



②⑧	くじょう 眞定展望台	湾・灘名	燧灘
分類	都市	所在地	愛媛県四国中央市
日本夜景遺産（2010 年）、日本夜景 100 選（2004 年）にも認定された人気スポット。国道 319 号線沿いの休憩地にあり、市街地が空の上から見るように眼下に広がります。 また、2012 年 7 月 1 日には、プロポーズにふさわしいロマンチックな場所として「恋人の聖地」に認定され、多くのカップルのデートコースとしても利用されています。			
情報源	四国中央市観光交通課・四国中央市観光協会（写真提供元）		（情報提供：愛媛県）

②⑨	そとどまり 外泊石垣の里	湾・灘名	豊後水道
分類	集落	所在地	愛媛県南宇和郡愛南町
愛媛県外泊地区は、幕末から明治にかけて十数年にわたって山肌を開墾し、その際に出土した自然石で、強い季節風から家を守るための石垣に守られた集落が造られました。それが独特の景観を生み出して「石垣の里」とよばれています。 この景観を維持していこうと 10 年前に地元の人たちによって「外泊いしがき守ろう会」が結成され、崩れた石垣を修復したり段畑の草刈りを行っています。春には、石のお雛様を飾る「だんだん雛祭り」と「石垣の里イルミネーション」を開催し、訪れた人を楽しませています。			
情報源	広報誌 広報あいなん 2018 年 4 月号より		（情報提供：愛媛県）

③⑩	ふぜんしょうえ 豊前松江駅	湾・灘名	周防灘
分類	その他（駅）	所在地	福岡県豊前市大字松江
日豊線下りで初めて海の景色を間近に楽しめる豊前松江駅。 天気次第では対岸山口県宇部も視界に。			
情報源	福岡県観光連盟 DeepFUKUOKA パンフレット		（情報提供：福岡県）

(5) その他の景観（生活の風景等）

日常生活の中にある風景は、当たり前の存在となっていて、普段特に意識されることがないため、その価値に気づきにくいものである。そのため、時代の変化とともにいつのまにか消え失せてしまいがち。

一見何気ない生活の風景にも地域の風習や歴史が溶け込んでいる。渡舟の通勤通学の風景、干し蛸の天日干し風景、地域のまつりの風景など、どの風景も地域の個性を反映している。渡し船は、橋が開通した今でも、市民の足として親しまれ利用されている。

都市開発、橋の開通、農産業の機械化、人口減少・少子高齢化・過疎化は、生活の風景に深くかかわっている。特に祭りや農業漁業の景観のように、これまで人の手によって守られてきたものは、後継者不足から、存続の危機に瀕している。

近年、地域では景観条例等の普及に伴い、日常の風景への意識が高まっている。地域独自の景観選やインスタフォトコンテスト、地元の歴史・地理・文化を学ぶ町散策ツアーや写真撮影会、学校での景観学習の実施、景観アドバイザーやボランティアガイドの養成など、自治体や団体が創意工夫をして住民参加型の催しを行っている。

地域独自の日常生活の風景や祭りのような文化的景観の維持には、法律による施設整備などのハード面での保全はもちろんのこと、住民や民間によるソフト面の連携も欠かせないものである。地域住民の身近な景観に対する意識や愛着を高めることが、景観の保全につながり、後世に引き継いでいくことができるであろう。

瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観の事例のうち生活の風景等に関して収集した結果を図2-5、表2-5-1、2-5-2に示す。



図 2-5 その他の景観（生活の風景等）

※瀧・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第 13 条第 1 項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表 2-5-1 その他の景観（生活の風景等） 事例一覧

5 その他の景観 （生活の風景等）				分類				紹介根拠							キーワード
				①	②	③	④	A	B	C	D	E	F	G	
府県名	番号	名称	湾・灘名	日常生活	再エネ利用	関係人口による生活	その他	社会的に認知	価値がある	インスタ映えがする	〇〇百選	文化財・重要伝統的建築物	映画等の舞台	その他	
大阪府	①	マーブルビーチ・タルイサザンビーチの夕陽	大阪湾			○					○				日本の夕陽百選
兵庫県	②	相生のペーロン競漕	播磨灘				○	○	○						伝統行事
和歌山県	③	広村堤防	紀伊水道				○		○			○		○	日本遺産「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～
岡山県	④	下津井の干したこ	備讃瀬戸	○				○		○					岡山観光 WEB
	⑤	下津井共同井戸群	備讃瀬戸	○								○			生活や北前船の飲料水として供給された共同井戸
広島県	⑥	渡船通学の風景	備後灘	○										○	瀬戸内らしい通学風景
徳島県	⑦	小鳴門海峡の渡船	紀伊水道・播磨灘				○							○	島に橋がかかった現在でも使用されるほど生活に取り入れられている
香川県	⑧	ひついで 櫃石ももて祭	備讃瀬戸				○			○		○			まつり
	⑨	瀬居八幡宮の秋大祭(船渡御)	備讃瀬戸				○			○				○	まつり 大漁旗で飾った船に神輿を載せて巡る「船渡御」
福岡県	⑩	浜の宮海岸	周防灘				○				○				県の自然百選
	⑪	吉富漁港 黒松千本植樹	周防灘				○		○						松林復活のため2009年からボランティアによる黒松植林
大分県	⑫	湯けむり景観	伊予灘	○						○	○				21世紀に残したい日本の風景第2位
	⑬	豊後二見ヶ浦大しめ縄張替え	豊後水道				○	○	○	○					

※湾・灘の区分は「瀬戸内海環境保全臨時措置法第13条第1項の埋立についての規定の運用に関する基本方針について」に準ずる

表 2-5-2 その他の景観（生活の風景等）事例

①	マーブルビーチ・タリイサザンビーチの夕陽	湾・灘名	大阪湾
分類	海浜	所在地	大阪府泉南市りんくう南浜
マーブルビーチ・タリイサザンビーチは、岡田浦漁港と樽井漁港に挟まれ、閑空島建設の際に造成された人工の浜であるが、漁業に携わる人々だけでなく、マリンスポーツを楽しむ人々や、釣りを楽しむ人々、毎朝夕のジョギング、ウォーキングなどを楽しむ近隣の人々にとっては欠かせないスポットになっており、その美しさから「日本の夕陽百選」に選定されている。また、閑空島から離着陸する飛行機を、夕陽を背景に撮影できることもあいまって、プロ・アマチュアを問わずカメラマンの人気スポットにもなっている。 「夕陽百選」に選定されている事を PR しつつ、景観の大切さを啓発し保全していくために、ポスター・チラシ作成、サンセットフェスタ等の啓発イベント（参加者によるビーチの清掃も実施）を開催している。 また、平成 30 年には、マーブルビーチに「恋人の聖地」ハートモニュメントを設置し、令和 2 年には、市の PFI 事業として、新たに都市公園「泉南りんくう公園（愛称：SENNAN LONG PARK）」を開園し、美しい自然の景観を生かしつつ、レクリエーションゾーンとして再生させ、大阪府、泉南市の新たな集客スポットとしてその魅力を発信している。			
情報源	（情報提供：大阪府）		



②	相生のペーロン競漕	湾・灘名	播磨灘
分類	その他（伝統行事）	所在地	兵庫県相生市
相生ペーロン祭は、播州路に初夏を告げる一大イベントで、毎年5月最終日曜日に相生湾で開催しています。またその前日（土曜日）には、約 5000 発の花火を打ち上げる豪華な海上花火大会を開催しています。 本祭りの海上の部として行われるペーロン競漕は、大正 11 年に長崎県出身の播磨造船所従業員によって伝えられ、終戦までは毎年 5 月 27 日の海軍記念日に同社構内天白神社の例祭として、ボートレースと共に行われてきましたが、この異国情緒あふれるペーロン競漕を絶やすことなく続けたいと、戦後、市・商工会議所・播磨造船所の共催による「相生港まつり」として開催し、また前夜祭として花火大会も行われるようになり、現在の祭りの基礎ができました。 昭和 37 年には市、商工会議所、石川島播磨重工業の三者により「相生ペーロン祭協賛会」を結成し、翌昭和 38 年からは「相生ペーロン祭」の海上行事として、ドン！デン！ジャン！と、中国特有の銅らと太鼓の音に合わせて力漕する姿は、まさに龍が水面を駆けるように壮観そのもので、盛大に行われています。			
情報源	相生ペーロン協会 HP （情報提供：兵庫県）		



③	広村堤防	湾・灘名	紀伊水道
分類	その他	所在地	和歌山県広川町
安政元年(1854)の津波を受け、濱口梧陵が濱口吉右衛門らの協力を得て築いた長さ約 600m、基底の幅約 20m、高さ約 5mの堤防で、国の史跡として文化財に指定されています。安政 2 年(1855)2 月に着工し、安政 5 年(1858)12 月に完成。沖の突堤、海沿いの石堤と合わせて、多重防御のシステムを構築しています。梧陵は 1,572 両もの私財を投じ、のべ 56,736 もの村人を日払いで雇用することで、津波の被害で荒廃した村から人々の離散を食い止めました。昭和 21 年(1946)の昭和南海地震では、「是れ此の築堤の工を起こして住民百世の安堵を図る所以なり」という梧陵が残した言葉どおり、市街地への津波の流入を防ぎました。			
情報源	広川町日本遺産推進協議会 HP https://hyakusei-no-ando.com/ （情報提供：和歌山県）		



④	下津井の干し蛸		湾・灘名	備讃瀬戸
分類	日常生活	所在地	岡山県倉敷市下津井	
倉敷市の南端、瀬戸大橋の麓にある下津井は、江戸時代には北前船の寄港地として大いに賑わいました。漆喰壁に本瓦葺きの町家など、岡山県の「町並み保存地区」に選定された港町独特の町並みが続きます。冬には、全国的にも有名な「下津井ダコ」の足を広げ、寒風に晒す『干しダコ』の姿が見られ、冬の風物詩となっています。				
情報源	倉敷市観光情報発信協議会（倉敷観光 WEB） 倉敷市（倉敷市観光パンフレット）岡山県広域水産業再生委員会 （情報提供：岡山県）			

⑤	下津井共同井戸群		湾・灘名	備讃瀬戸
分類	日常生活	所在地	岡山県倉敷市	
下津井は児島半島南端に位置し、江戸時代を通じて商港・漁港として、また金毘羅往来の発着港として栄えました。 町並みには複数の家で使用する共同井戸があり、杓井戸・寺井戸・鶴井戸・亀井戸と呼ばれています。 これらの井戸は江戸時代以降、下津井に暮らす人々や港へ寄港する船への飲料水として供給されました。				
情報源	倉敷市HP		(情報提供：倉敷市)	

⑥	渡船通学の風景（尾道水道）		湾・灘名	備後灘
分類	日常生活	所在地	広島県尾道市	
JR 尾道駅のある本土側と幅約 200 メートルの尾道水道を隔てて対岸の向島を結ぶ渡船。 向島の高校生の 6 割は渡船を利用して通学し、生活に欠かせない渡船となっています。				
情報源	広島県写真 DB			（情報提供：広島県）

⑦	小鳴門海峡の渡船	湾・灘名	紀伊水道・播磨灘（小鳴門海峡）
分類	その他（渡船）	所在地	徳島県鳴門市
小鳴門海峡には古くから渡船が運行しており、島に橋が架かった今でも重要な交通手段として、高校生や教育大学へ通う学生、島内の高齢者などが利用している。			
情報源	(情報提供：徳島県)		

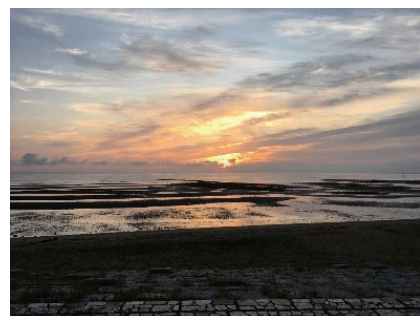
⑧	櫃石ももて祭 ^{ひついし}	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	その他（まつり）	所在地	香川県坂出市
ももて祭は、1 月中下旬の日曜日に、櫃石島の王子神社で開催される祭りで、香川県指定無形民俗文化財に指定されています。 豊漁や五穀豊穡、厄除けや家内安全を祈願しながら11人の射手が的を射ます。 弓の的には、他の地域と違って四角形の的が使われます。また、弓の型は“小笠原古流”という型で、少し腰を落として前かがみで弓を射ります。これは波で揺れる船の上から矢を放つ舟合戦の様子を今に伝えるものです。			
情報源		（情報提供：香川県）	



⑨	瀬居八幡宮の秋大祭 ^{せい} （船渡御 ^{ふなとぎよ} ）	湾・灘名	備讃瀬戸
分類	その他（まつり）	所在地	香川県坂出市
番の州工業地帯の埋め立て造成により陸続きとなった瀬居町にある瀬居八幡宮の秋祭りでは、御神輿が漁船に乗って海を渡り、各港を鉦や太鼓を鳴り響かせて、豊漁と海上安全を願って巡行する「船渡御」が9月の最終日曜日に行われます。 2隻の漁船を横につなぎ、そこに神輿を乗せ、神輿船の前後には大漁旗で飾った漁船が船団を組んで、瀬居島を一周するように、渡っていきます。昔は、その年に造られた新造船が神輿船に選ばれていたそうです。現在でも、神輿船に選ばれることは、とても名誉なこととされています。			
情報源		https://www.sakaide-kankou.net/events/seihachiman.html （情報提供：香川県）	



⑩	浜の宮海岸	湾・灘名	周防灘
分類	その他（海岸）	所在地	福岡県築上郡築上町大字高塚
豊前海を一望できる絶景が魅力で、福岡県の「自然百選」にも選ばれた樹齢300年以上のクロマツ林が続く浜の宮海岸。			
情報源		築上町ホームページ （情報提供：福岡県）	



⑪	吉富漁港 黒松千本植樹	湾・灘名	周防灘
分類	その他（植樹）	所在地	福岡県築上郡吉富町大字小祝地先
その昔美しい松林があったといわれる吉富海岸に松を復活させようと、2009 年、住民ボランティアの手により黒松が千本植えられました。苗木は強い海風を受けながらも 1 本 1 本着実に成長しており、古き良き豊かな自然の再生が年々進んでいます。			
情報源	吉富町パンフレット（情報提供：福岡県）		

⑫	湯けむり景観	湾・灘名	伊予灘
分類	日常生活（温泉）	所在地	大分県別府市
別府市は緑豊かな鶴見連山を背後に抱き、前面には青々とした別府湾を望む、他の都市では見ることの出来ない湯けむりが日々立ち昇る豊かな自然景観を有しています。その数は 400 を超え、また旅館や貸間など昔ながらの湯治場の形態が今も残っています。 平成 13 年に NHK が実施した「21 世紀に残したい日本の風景」で第 2 位に選ばれたことで、別府ならではの湯けむり景観を守ろうという気運が高まり、鉄輪地区や明礬地区では建築物の形態・意匠・高さ等の制限を行う重点景観計画を策定し、また国の重要文化的景観にも選定されました。 市内には、眺めを一望できる湯けむり展望台があり、多くの観光客が訪れています。4 月には、別府八湯温泉祭りのイベントの一つである扇山火祭りが行われ、春の到来を告げるとともに地域全体を盛り上げています。			
情報源	(情報提供：大分県)		

⑬	豊後二見ヶ浦大しめ縄張替え		湾・灘名	豊後水道（佐伯湾）
分類	その他（地域固有の風景）	所在地	大分県佐伯市浅海井浦	
長さ約 65m、重さ約 2 t、最大直径 75 cm の巨大しめ縄でしっかりと繋がる夫婦岩「豊後二見ヶ浦」。1994 年にギネスブックにて紹介されたこの大しめ縄は、毎年 12 月に地元の有志が中心となって大しめ縄の張替え作業が行われ、新年を迎える時期の風物詩となっております。元旦には夫婦岩の間から登る初日の出を見ようと地元住民のみならず、県内外からの来訪者でにぎわいます。				
情報源	佐伯市観光大百科			（情報提供：大分県）

3. 景観保全に関する法制度と保全に向けた取り組み

(1) 景観保全に関する法制度

瀬戸内海は、美しい海と大小の島々の自然景観、そして漁港や港町、神社仏閣、棚田風景、人々の生活や歴史を感じさせる文化的・歴史的景観に満ち溢れている。近年では、島をつなぐ橋、工場夜景も瀬戸内海の景色として挙げられるようになった。

昭和後期の高度経済成長の都市化や工業化等によって、瀬戸内海の風景は変容した。画一的な街並みづくりによって、地域の個性、固有性が失われていった。

しかし、近年、人々の生活や風土に深く結びついた地域特有の景観の重要性が見直され、その保護の必要性が認識されるようになった。日々の生活に根差した身近な景観としての“文化的景観”は、日頃その価値にはなかなか気付きにくいものである。その価値を正しく評価し、地域で護り、次世代へと継承していくために、平成 16 年、文化財保護法の一部改正で「重要文化的景観」の選定制度を文化庁が設けた。

そして、平成 17 年 6 月、国土交通省が都市、農山漁村等における良好な景観の形成を促進するための景観法を全面施行。それ以降、景観行政団体である地方公共団体は条例で景観問題に対して大きな役割を果たすことが可能になった。さらに、平成 20 年 11 月には、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）が施行され、歴史まちづくりに係る様々な取り組み（歴史的風致維持向上計画）が景観保全にもつながるようになった。

また、平成 27 年 2 月の瀬戸内海環境保全基本計画の変更及び 10 月の瀬戸内海環境保全特別措置法の改正により、「豊かな海」の実現に向けたそれまでの 2 つの基本計画の目標「水質の保全」、「自然景観の保全」は、「沿岸域の環境の保全及び創出」、「水質の保全及び管理」、「自然景観及び文化的景観の保全」、「水産資源の持続的な利用の確保」という 4 つの目標に追加変更された。ここでも「文化的景観」の保全が揚げられている。

こうした景観保全の制度を受けて、地域で独自の自然や歴史・文化、産業等を活かした景観形成の取り組みが進むようになり、観光や交流、環境教育の活性化につながっている。「景観」の保全は、地域の魅力を創出し、活性化を促しているのである。一方で、景観を守る地域の過疎高齢化に伴うマンパワー不足が深刻な問題ともなっている。

(2) 景観保全の取り組み事例

表 3-1 に瀬戸内海沿岸部の行政団体による景観の保全に向けた施策の事例を収集した結果を示す。ここでは 22 件の事例が収集された。具体的な個々の事例概要を表 3-2 に示す。

表3-1 景観保全の取り組み 事例一覧

No	情報元 府県市名	実施施策名	担当機関・部署	対象景観	湾・灘名
1	大阪府	りんくう海道ブルーツーリズム事業	泉南市産業観光課	泉南市内のりんくうマールビーチ及びその周辺	大阪湾
2	兵庫県	景観の形成等に関する条例	兵庫県（景観形成室）	西播磨海岸地域における自然、歴史的景観	播磨灘
3	兵庫県	赤穂市歴史文化基本構想、都市景観の形成に関する条例	赤穂市（教育委員会生涯学習課文化財係、都市整備課）	赤穂市坂越地区のまち並み	播磨灘
4	兵庫県	生島樹林の保全	赤穂市教育委員会生涯学習課文化財係	坂越湾・生島周辺の景観	播磨灘
5	和歌山県	湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区	湯浅町（地方創生ブランド戦略推進課）	湯浅町湯浅の町並み	紀伊水道
6	和歌山県	広川町歴史的風致維持向上計画	広川町企画政策課	広村堤防	紀伊水道
7	岡山県	晴れの国 おかやま景観計画	岡山県環境企画課	農林漁業景観・建築・町並み景観	播磨灘・備讃瀬戸
8	倉敷市	倉敷市町並み保存地区整備事業補助金交付要綱 倉敷市下津井町並み保存地区整備計画	倉敷市（文化財保護課）	倉敷市下津井町並み保存地区（下津井港周辺）	備讃瀬戸
9	倉敷市	倉敷市町並み保存地区整備事業補助金交付要綱 倉敷市玉島町並み保存地区整備計画	倉敷市（文化財保護課）	倉敷市玉島町並み保存地区（玉島港周辺）	備讃瀬戸
10	広島県	景観法に基づく福山市景観計画及び福山市景観条例	福山市建設局都市部都市計画課	福山市南部地域	備讃瀬戸・備後灘
11	広島県	景観法に基づく呉市景観計画及び呉市景観条例	呉市都市部都市計画課	呉市全域	広島湾・安芸灘
12	広島市	広島市景観計画（景観法）	広島市都市整備局都市計画課 都市デザイン係	広島市全域	広島湾
13	広島県	廿日市市伝統的建造物群保存地区保存条例	廿日市市建設部都市計画各課	廿日市市宮島町の一部	広島湾
14	山口県	名田島南蛮榼保存管理計画、整備基本計画	山口市（文化財保護課）	周防灘干拓遺跡 名田島南蛮榼	周防灘
15	香川県	丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区保存事業 丸亀市伝統的建造物群保存地区保存条例	丸亀市教育部総務課文化財保護室	笠島まち並み	備讃瀬戸
16	香川県	「多度津町多度津」の伝統的町並み調査（多度津町本通等の伝統的町並み調査委員会設置要綱〔平成29年多度津町教育委員会要綱第2号〕）	多度津町教育委員会事務局教育課	「多度津町多度津」の伝統的町並み	備讃瀬戸
17	愛媛県	国立公園保全事業	公益社団法人今治地方観光協会	唐子浜地区	燧灘
18	愛媛県	遊子水荷浦地区景観計画（平成19年4月策定）	宇和島市（商工観光課・農林課 等）	水荷浦の段畑	豊後水道
19	福岡県	行橋市景観計画（行橋市景観まちづくり条例）	行橋市都市整備部都市政策課	行橋市全域（景観計画区域）	周防灘
20	福岡県	京築広域景観計画	福岡県建築都市部都市計画課	苅田町、みやこ町、築上町、吉富町、上毛町、行橋市、豊前市（行橋市及び豊前市については、独自の景観計画を運用）	周防灘
21	大分市	景観地区及び地区計画に基づく景観形成（都市計画法・景観法・建築基準法）	大分市（まちなみ企画課・都市計画課）	大分港 西大分地区（西大分地区の一部区域）	別府湾
22	大分市	地区計画に基づく景観形成（都市計画法）	大分市（都市計画課）	高崎山海岸地区（大字神崎の一部区域）	別府湾

表3-2 景観保全の取り組み事例

1	実施施策名 (関連法令・計画等)	りんくう海道ブルーツーリズム事業		
	担当機関・部署等	大阪府 泉南市（産業観光課）		
	対象景観	泉南市内のりんくうマーブルビーチ及びその周辺	湾・灘名	大阪湾
（施策の概要） 大阪府恒常的なまちの魅力向上支援事業として平成 27 年度に採択された事業。りんくうタウン周辺にある新旧の地域資源をつないだエリアを「りんくう海道」と新たに位置づけ、海をテーマとしたツーリズムを実施することによって、りんくうタウン周辺の資源の美観と保全を推進するとともに、新たな魅力の創出を目指し、マーブルビーチの清掃、ビーチでの啓発イベント「サンセットフェスタ」などの開催、マーブルビーチに隣接する海浜でのウミホタル観察会の開催などによって海の大切さを啓発し、大阪府、泉南市の新たな集客スポットとしてその魅力を発信している。 ＜事業実施期間：平成 27 年度～平成 30 年度＞				
		 		

2	実施施策名 (関連法令・計画等)	景観の形成等に関する条例		
	担当機関・部署等	兵庫県（景観形成室）		
	対象景観	西播磨海岸地域における自然、歴史的景観	湾・灘名	播磨灘
（施策の概要） 「景観の形成等に関する条例」による広域景観形成地域・景観形成地区等の指定により自然景観と調和した良好な景観形成に努めている。 【広域景観形成地域】 複数の市町の区域に広がる優れた景観を創造又は保全する必要がある地域を指定し、地域特性に応じた広域景観形成基準を定めるとともに、大規模建築物等の新築・増改築、広告物等の表示を行う場合に届出を求め、地域の景観の形成を図っている。 ■西播磨海岸地域〔風景型広域景観形成地域〕 当地域の岬で構成される入り江の浦には、瀬戸内海有数の港町を形成し、その集落を風・波から守る岬は、神の降臨場として信仰を集め、神社を祀り保全しており、その背後の丘陵とともに、美しい緑の海岸線を形成している。兵庫県の瀬戸内海側で有数の長さを誇る自然海岸と港町を形成する貴重な地域において、美しい風景づくりの推進を図る。				
		 		
		万葉の岬から 新舞子海岸から		

【景観形成地区】

各市町内の優れた景観を創造又は保全する必要がある区域を指定し、地区の目指すべき景観に応じた景観形成基準を定めるとともに、建築物等の新築・増改築、広告物等の表示、屋外自動販売機の設置などを行う場合に届出を求め、地区の景観の形成を図っている。

■高砂市高砂地区〔歴史的景観形成地区〕

近世の町割と伝統的な建物が残された歴史と文化を感じさせる景観、加古川河口の白砂青砂で知られる水と豊かな景観を活かしたまちづくりを目指す。

江戸時代の発明家で、北前船にも使われた丈夫でしなやかな帆布「松右衛門帆」を開発し、海運業の発展に貢献した「工楽松右衛門」ゆかりの旧宅があり、歴史文化や観光の拠点としてのまちづくりが進められている。

※H30 年5月に日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の追加認
市町として高砂市が認定を受けている。



■たつの市御津町室津地区〔歴史的景観形成地区〕

古代から国家的な港津で、旧豪商の家屋や宿場町として繁栄した面影を残す本瓦葺二階建ての重厚な町家群が豊かな自然と織りなす町並みを形成している。

地区内の旧豪商の嶋屋と魚屋は、かつての繁栄ぶりがうかがえる施設で、「室津海駅館」・「室津民俗館」として活用され、文化・観光まちづくりの拠点となっている。



3	実施施策名 (関連法令・計画等)	赤穂市歴史文化基本構想、都市景観の形成に関する条例		
	担当機関・部署等	兵庫県 赤穂市（教育委員会生涯学習課文化財係、都市整備課）		
	対象景観	赤穂市坂越地区のまち並み	湾・灘名	播磨灘
（施策の概要） 平成 29 年度に策定した『赤穂市歴史文化基本構想』において、「赤穂市を代表する歴史文化」の一つ「まちなみと風景」の構成文化財として坂越のまち並みを取り上げている。 坂越地区のまちづくりの目標である「歴史をいかす一風格と潤いのある、落ち着いたまち」をめざすため、地形や集落形態などの現況から「歴史・景観道沿道地区」、「みなと・景観地区」、「新・住宅地区」の3地区に区分し、それぞれの地区特性を生かした基準を定め都市景観の形成を図っている。 坂越地区は、坂越湾に浮かぶ天然記念物の生島や、千種川と坂越湾をつなぐ石畳でできた坂越大道、その両側には旧坂越浦会所や、坂越まち並み館をはじめとした歴史ある建築物が立ち並び、今もなお当時の港町の面影を残す風情あるまち並みが残り、美しい景観を形成している。				
 				

4	実施施策名 (関連法令・計画等)	生島樹林の保全		
	担当機関・部署等	兵庫県 赤穂市（教育委員会生涯学習課文化財係）		
	対象景観	坂越湾・生島周辺の景観	湾・灘名	播磨灘
（施策の概要） 生島にある生島樹林は国天然記念物に指定されており、古くからの植生が保たれていたが、1970年代より特定植生の繁茂がみられたため、兵庫県立大学の支援を得、市民参画によって植生管理が継続的に行われている。				



5	実施施策名 (関連法令・計画等)	湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区		
	担当機関・部署等	和歌山県 湯浅町（地方創生ブランド戦略推進課）		
	対象景観	湯浅町湯浅の町並み	湾・灘名	紀伊水道
（施策の概要） 湯浅町湯浅は、平成 18 年 12 月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された町並みである。 近世以降、醤油醸造を中心に栄えた商工業都市の姿を受け継ぎ、比較的広い「通り」とその間を走る「小路」と呼ばれる狭い街路によって構成される空間に、かつて醤油醸造業を営んでいた家の主屋や土蔵が残されている。平成29年には日本遺産『最初の一滴』醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』が認定された。				



6	実施施策名 (関連法令・計画等)	広川町歴史的風致維持向上計画		
	担当機関・部署等	和歌山県 広川町（企画政策課）		
	対象景観	広村堤防	湾・灘名	紀伊水道
（施策の概要） ■ 広川町の概要 広川町は和歌山県のほぼ中央に位置し、雄大な山々を源流に広川が流れ、複雑な海岸線には遠浅の海浜も点在するなど、素晴らしい自然に囲まれた温暖な地域です。豊かな自然にはぐくまれたこの地は、海路や陸路の要としてまちが形成され、産業の発展とともに様々な文化遺産が伝えられています。広川町の歴史的魅力的象徴ともいえるべき「稲むらの火」の物語は「世界津波の日（World Tsunami Awareness Day）」として世界に認められるなど、先人が築き守り続けてきた様々な建造物と営みは、広川町の特徴的な歴史的風致を形成しています。 また、平成30年5月には、広川町の防災文化に関するストーリー『「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～』は日本遺産にも認定されています。 ■ 歴史的維持向上計画による歴史まちづくり 広川町は歴史的な町並みや伝統行事など広川町固有の魅力ある豊かな歴史的風致を維持向上し、後世に継承することを目的として、「広川町歴史的風致維持向上計画」を策定し、平成28年10月に国の認定を受け、以下の事業を進めています。				

○広村堤防歴史広場整備事業

広村堤防の本質的価値を明らかにし、望ましい保存・活用の方針を定めるため、保存活用計画書を策定します。その計画方針に基づき、隣接した土地に広場整備を行い、史跡の周辺環境の向上を図ります。



広村堤防

○重要文化財濱口家住宅整備事業

濱口家住宅は、近世から明治に至る屋敷構えが一体で残り、地域を代表する商家の発展過程を示すものとして重要な意義を有している建物です。濱口家住宅の歴史と価値を高めるため、適切な保存修理・整備を行い、広の町並みにおける歴史まちづくりの核のひとつとして活用できるように、平成29年3月に「濱口家住宅保存活用計画」を策定しました。



濱口家住宅

○「稲むらの火」関連事業

1854年（安政元年）の大津波により犠牲になった人々の霊をなぐさめ、広村堤防を築いた濱口梧陵の偉業とその徳をしのび、毎年11月5日に津浪祭を開催しています。



津浪祭

7	実施施策名 (関連法令・計画等)	晴れの国 おかやま景観計画		
	担当機関・部署等	岡山県（環境企画課）		
	対象景観	農林漁業景観・建築・町並み景観	湾・灘名	播磨灘・備讃瀬戸
(施策の概要) 1 目的 優れた景観を次ぎの時代に引き継ぐための景観形成指針として、県民一人一人の景観に対する意識を高め、県民と行政が協働して「おかやまの景観づくり」に取り組む姿勢を示すもの。 2 主な内容 ・景観計画区域及び景観モデル地区を定め、景観形成基準により行為を制限。 ・岡山らしさにあふれた景観を「岡山景観百選」として選定し、ホームページやパンフレットを作成して紹介。 ・景観形成に関する諸制度や景観づくりの優れた取り組み等を取りまとめて、ホームページ「おかやまの景観」を開設して一元的に情報発信。				
			 おかやまの景観ポータルサイト	
			 王子が岳 (岡山景観百選・景観モデル地区)	

8	実施施策名 (関連法令・計画等)	倉敷市町並み保存地区整備事業補助金交付要綱 倉敷市下津井町並み保存地区整備計画		
	担当機関・部署等	岡山県 倉敷市（文化財保護課）		
	対象景観	倉敷市下津井町並み保存地区（下津井港周辺）	湾・灘名	備讃瀬戸
（施策の概要） 下津井港は瀬戸内海に面し、非常に歴史の古い港で、奈良、平安時代の記録にも出ている。 下津井が本格的な港町として栄えたのは、江戸時代中期以降からで、内海航路の船や北前船などで大いににぎわった。 現在でも往時をしのぶことのできる古い町並みが残っており、その歴史的な景観を保存するため、建物の修理・修景に対して助成措置を講じている。				



9	実施施策名 (関連法令・計画等)	倉敷市町並み保存地区整備事業補助金交付要綱 倉敷市玉島町並み保存地区整備計画		
	担当機関・部署等	岡山県 倉敷市（文化財保護課）		
	対象景観	倉敷市玉島町並み保存地区（玉島港周辺）	湾・灘名	備讃瀬戸
（施策の概要） 玉島は干拓と水運により発展した町で、17世紀の中頃より堤防を築き、干拓を進めるかたわら、高瀬通しを開削し、高梁川流域の物資の集散地として、また西国航路の拠点として栄えた。 現在でも往時をしのぶことのできる古い町並みが残っており、その歴史的な景観を保存するため、建物の修理・修景に対して助成措置を講じている。				



10	実施施策名 (関連法令・計画等)	景観法に基づく福山市景観計画及び福山市景観条例		
	担当機関・部署等	広島県 福山市（建設局都市部都市計画課）		
	対象景観	福山市南部地域	湾・灘名	備讃瀬戸・備後灘
（施策の概要） 島しょ部や沿岸部に残る貴重な自然海岸・海浜はもとより、内海大橋やマリーナ、造船所などの建造物も含めて、瀬戸内海の美しい眺めを生かした景観をめざします。 鞆地区では、歴史・文化や自然と人々の暮らしが調和した、福山市を代表する魅力的な景観をめざします。				



11	実施施策名 (関連法令・計画等)	景観法に基づく呉市景観計画及び呉市景観条例		
	担当機関・部署等	広島県 呉市（都市部都市計画課）		
	対象景観	呉市全域	湾・灘名	広島湾、安芸灘

（施策の概要）

呉市では、良好な景観の形成を目指して『山と海の交わりの中で、自然、生活、歴史、文化が溶け込む景観づくり』を基本理念に、市全域を対象とする呉市景観計画を策定しています。

特に“呉らしさ”を有する7つのエリアを“景観づくり区域”として重点的に景観の保全・形成に取り組むこととしており、いずれも瀬戸内海の自然・歴史・文化との関わりの深さが、その景観の特性となっています。



呉中央景観づくり区域



野呂山景観づくり区域



桂浜景観づくり区域

12	実施施策名 (関連法令・計画等)	広島市景観計画（景観法）		
	担当機関・部署等	広島県 広島市（都市整備局都市計画課都市デザイン係）		
	対象景観	広島市全域	湾・灘名	広島湾

（施策の概要）

景観法に基づき策定した広島市景観計画に、良好な景観づくりを進める上で景観上重要かつ象徴的、代表的な地区で重点的に取り組む地区を景観計画重点地区として設定し、それぞれの地区の特性を踏まえ地区別に景観形成の方針及び形態意匠の基準を定めている。一定規模以上の建築物の建築等を行う場合には景観法に基づく届出が必要であり、これらの方針や基準に適合する必要がある。

なお、景観法に基づく届出制度では基準への適合審査が主体となるため、本市では、これを補完し、きめ細やかな景観誘導を行うものとして事前協議制度を設け、基準等に適合するものには事前協議済証を交付するなど、事業者等との対話型の景観誘導を進めている。

景観計画区域のうち、広島湾に係る景観計画重点地区の景観形成の方針は以下のとおりである。

- ・ 佐伯区、南区、安芸区の湾岸沿い（景観計画重点地区：リバーフロント・シーフロント地区（シーフロント地区））
デルタ市街地を流れる太田川の派川をはじめとする河川や海辺は、その美しさから眺望の対象であるとともに、身近に憩い楽しめる場所である。
美しく整備された河岸緑地や遠くまで見通せる空間の特性を生かし、「水の都ひろしま」にふさわしい、潤いや安らぎ、にぎわいを創出することを景観形成の方針としている。
- ・ 国が認定した「みなとオアシス広島」の宇品内湾地区及び宇品中央地区（景観計画重点地区：宇品みなと地区）
宇品みなと地区は、江田島や能美島などの島しょ部や松山、呉、宮島と航路で結ばれた、瀬戸内海の海上旅客交通の拠点であり、海に開かれた本市の重要な交通結節点である。
「みなとオアシス広島」の区域では、市民等が旅客ターミナルや緑地等の港湾施設、歴史資産、豊かな自然を活用することによって、みなとに「にぎわい」を創出する取組が展開されており、本市の海の玄関にふさわしい魅力にあふれた景観づくりを進めることを景観形成の方針としている。



シーフロント地区



宇品みなと地区

13	実施施策名 (関連法令・計画等)	廿日市市伝統的建造物群保存地区保存条例		
	担当機関・部署等	広島県 廿日市市（建設部都市計画課）		
	対象景観	廿日市市宮島町の一部	湾・灘名	広島湾
（施策の概要） 廿日市市宮島町にある「宮島町伝統的建造物群保存地区」は、厳島神社の門前町、瀬戸内海経済の要衝、歓楽地として発展し、宗教と商業という性格の異なる2つの町が併存する町並みが特徴である。その歴史的な風致を伝える町並みを保存するため、廿日市市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づき景観の保全に努めている。				
				

14	実施施策名 (関連法令・計画等)	名田島南蛭樋保存管理計画、整備基本計画		
	担当機関・部署等	山口県 山口市（文化財保護課）		
	対象景観	周防灘干拓遺跡 名田島南蛭樋	湾・灘名	周防灘
（施策の概要） 「文化財保護法」で国史跡に指定され、文化財として保存と活用に努めている。 「保存管理計画」「整備基本計画」に基づいて、各種調査を行い遊水地の浚渫や堤体整備などを計画している。 名田島南蛭樋は、周辺に広がる江戸時代以来の田園風景とともに、干拓による新田開発の様子を現代によく伝えている。				
				

15	実施施策名 (関連法令・計画等)	丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区保存事業 丸亀市伝統的建造物群保存地区保存条例		
	担当機関・部署等	香川県 丸亀市（教育部総務課文化財保護室）		
	対象景観	笠島まち並み	湾・灘名	備讃瀬戸
（施策の概要） 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された笠島地区は、本島の北東部にある小さな港町で、三方は丘陵に囲まれ北面に天然の良港が開けている。集落内には狭い通路が網の目のように通り、このうち集落の東寄りを南北に走る東小路と、これと直交して弓なりに通るマッコ通りはやや道幅が広く、この通りに面して正面を格子構えとし、本瓦葺きで土壁を厚く塗った町屋形式の住宅が建ち並び、歴史的な町並みを形成している。				
				

16	実施施策名 (関連法令・計画等)	「多度津町多度津」の伝統的町並み調査 (多度津町本通等の伝統的町並み調査委員会設置要綱(平成29年多度津町教育委員会要綱第2号))		
	担当機関・部署等	香川県 多度津町(教育委員会事務局教育課)		
	対象景観	「多度津町多度津」の伝統的町並み	湾・灘名	備讃瀬戸
(施策の概要) 「多度津町多度津」には、金毘羅参詣の玄関口として、また北前船の寄港地として、大いに繁栄した歴史を色濃く示す伝統的町並みが残されている。この伝統的町並みが持つ学術的価値を明らかにし、その保存と活用の方策を検討するため、平成29年度より伝統的建造物群保存対策調査を実施している。今後は、調査成果を活用して、魅力あるまちづくり・安心して住み続けることができるまちづくりを推進していくための取り組み(景観保全の諸施策を含む)を実施していく予定である。				
				
		※多度津町教育委員会教育課の了解を得て掲載		
				
		※多度津町教育委員会教育課の了解を得て掲載		
				
		※多度津町教育委員会教育課の了解を得て掲載		
				
		担当者撮影		

17	実施施策名 (関連法令・計画等)	国立公園保全事業		
	担当機関・部署等	愛媛県(公益社団法人今治地方観光協会)		
	対象景観	唐子浜地区	湾・灘名	燧灘
(施策の概要) ○唐子浜地区の清掃活動 ・草刈り、清掃など ・地域の保安全管理のための水道水の確保 ○海水浴客のための環境整備活動 ・今治市が設置する海水浴用の唐子浜仮設トイレの清掃 ・海水浴シーズンの間、仮設シャワーの設置と清掃 ○松林の保全活動 ○海の子の家の開放と管理活動 ・施設の維持管理 ・利用客への貸出管理 ・施設にかかる歴史等の紹介				
				

18	実施施策名 (関連法令・計画等)	遊子水荷浦地区景観計画（平成 19 年 4 月策定）		
	担当機関・部署等	愛媛県 宇和島市（商工観光課・農林課 等）		
	対象景観	水荷浦の段畑	湾・灘名	豊後水道
（施策の概要） ※景観計画より引用 宇和島市西部沿岸、三浦半島北側中央部の水荷浦地区には、昔ながらの段畑の景観が現在も残されている。段畑の景観は、本地域の生業が反映された極めて貴重な景観であり、段畑を中心とした本地域の景観を後世へと継承するため、景観法に基づく景観計画を策定し保存に取り組んでいる。 現在、遊子地区の関係諸団体により構成される「段畑を守ろう会」によって、水荷浦の段畑を後世に残していこうとする活動が行われている。同活動については平成 15（2003）年 3 月にふるさと愛媛創造賞を受賞している。 参考：宇和島市ホームページ 都市計画より 「宇和島市遊子水荷浦地区景観計画書」 https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/tosikeikaku/keikankeikaku.html				



19	実施施策名 (関連法令・計画等)	行橋市景観計画（行橋市景観まちづくり条例）		
	担当機関・部署等	福岡県 行橋市（都市整備部都市政策課）		
	対象景観	行橋市全域（景観計画区域）	湾・灘名	周防灘
（施策の概要） 平成 20 年 3 月に“緑と水、心癒す風景を育む魅力のまち『ゆくはし』”を将来像とする「行橋市景観形成基本計画」を策定。その後、景観行政を取り巻く状況の変化や新たなまちづくりの動向へ対応するため令和 2 年 3 月に改定を行った。 本市のまちづくりは、『魅力がいっぱい 人が集まる パワフル ゆくはし』を将来都市像とし、地域文化・歴史文化を生かして、人・物・情報が集まり、賑わう活力ある ゆくはしの実現を目指している。				



20	実施施策名 (関連法令・計画等)	京築広域景観計画		
	担当機関・部署等	福岡県（建築都市部都市計画課）		
	対象景観	苅田町、みやこ町、築上町、吉富町、上毛町、行橋市、豊前市（行橋市及び豊前市については、独自の景観計画を運用）	湾・灘名	周防灘
（施策の概要） 京築地域は、山並み、河川、田園、海等の広域的に連続する景観を共有しているため、京築地域全体を一つのまとまりとして捉え、広域的に景観の保全形成を図ることを目的として景観計画を策定している。 周防灘沿いは、「田園と海の景観」と定め、低層の漁村集落や松林からなる海浜部の景観を、豊前海と人々のいとなみを感じさせる景観として適切な保全を図っている。 開発に対しては、今ある田園と海の景観に与える影響を最小限に抑えるよう配慮を求め、山から海にかけての眺望を確保するとともに、自然、田園、集落地、海が一体となったりわい景観と調和したものとなるよう誘導している。				



21	実施施策名 (関連法令・計画等)	景観地区及び地区計画に基づく景観形成 (都市計画法・景観法・建築基準法)		
	担当機関・部署等	大分県 大分市(まちなみ企画課・都市計画課)		
	対象景観	大分港 西大分地区(西大分地区の一部区域)	湾・灘名	別府湾
(施策の概要) 都市計画法の規定に基づく「西大分港周辺地区 景観地区及び地区計画」の決定により、「海とかんたんの歴史を感じる、賑わいと憩いのみなとオアシスの形成」を目標として、港を中心とした良好な街並み景観の形成に努めている。 西大分港周辺地区は、大分港発祥の地として古くから港町の歴史を刻んできた経緯を持ち、現在でも旅客フェリーターミナルとして、大分市の海の玄関口の役割を果たしている。 また、当地区は海を身近に感じることのできる貴重な水際線であり、港湾環境整備事業により港の環境整備も行われ、親水空間として憩いと賑わいの場として活用されている。				
  				

22	実施施策名 (関連法令・計画等)	地区計画に基づく景観形成(都市計画法)		
	担当機関・部署等	大分県 大分市(都市計画課)		
	対象景観	高崎山海岸地区(大字神崎の一部区域)	湾・灘名	別府湾
(施策の概要) 都市計画法の規定に基づく「高崎山海岸地区 地区計画」の決定により、「人々が集まり、様々な自然や生き物に触れ合いながら交流し、楽しみ、学び、尊び、憩う空間の形成」などをコンセプトとして、学習体験観光の高次元化及び総合的に魅力ある拠点形成に努めている。 高崎山に隣接している本地区には、水族館や体験学習施設が建設されていますが、周辺の自然環境に配慮するとともに、人々がゆとりや心地よさを感じられるよう適切に緑を配置しており、観光資源を活かした学習・観光拠点となっている。				
  				

おわりに

瀬戸内海環境保全協会では、平成 23 年度に設立 35 年となることを契機に、新たな瀬戸内海の環境保全への意識の醸成を図ることを目的として「海文化委員会」が当協会内に設置された。その後、選任された委員と事務局で平成 24 年度から「海文化委員会」を開催してきた。委員会では、瀬戸内海への親しみや海への関心を高め、人々とのふれあいや絆を強め、瀬戸内海を里海として再生することを念頭に「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」の検討が進められ、次の 6 つのテーマが設定された。以降、テーマ毎に資料の収集を重ねながら、事業成果としては、海文化シリーズ「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」として 6 つの小冊子の刊行という形で成果を公表してきた。

- ① 瀬戸内の食文化（平成 27 年 7 月発行）
- ② 瀬戸内の伝統行事（平成 28 年 3 月発行）
- ③ 瀬戸内の石の文化・塩の文化（平成 29 年 9 月発行）
- ④ 瀬戸内の藻場・干潟と保全の取り組み（平成 30 年 11 月発行）
- ⑤ 瀬戸内の海・浜辺と保全の取り組み（令和元年 10 月発行）
- ⑥ 瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み（令和 3 年 2 月発行）

それぞれの小冊子は各テーマに基づき事務局で基礎知見を収集編集したものに、会員の自治体等の方々にご協力をいただいて収集された各地域における個別の情報を加えて制作された。これにより、いずれも瀬戸内におけるテーマ別の貴重な情報資料集といえるものとなった。

移り変わる時代の中、世代によって景観への価値観に差異が見られる。さらに、社会の変化も受けて、これまで引き継がれてきた文化や行事、景観が存続の危機に瀕しているものがある。すでに消え去っていったものもある。しかし、社会や人々の価値観の変化とともに改めて価値が再認識され保全されるようになることもある。この海文化シリーズが「瀬戸内の海文化」を知り、見直すきっかけとなっていただければ幸いである。

今回、最後のテーマである「瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み」をもって、この「瀬戸内海における水環境を基調とした海文化」のシリーズは完結する。

これまでの成果は小冊子とともに当協会のホームページ内でも閲覧できるので、必要に応じて参考いただきたい。【<https://www.seto.or.jp/publish>】

最後に、多くの方々からのご協力により各冊子が完成できたことに深く感謝し、ここにご協力いただいた皆様、歴代の委員ならびに有識者アドバイザーの皆様に対し心より御礼申し上げます。

瀬戸内海が美しく豊かであることの一助として、海文化シリーズ「瀬戸内における水環境を基調とする海文化」の情報が活かされることを祈念したい。

令和 3 年 2 月
公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

＜参考＞

【海文化委員名簿】

京都府府民環境部環境管理課
兵庫県農政環境部環境管理局水大気課
和歌山県環境生活部環境政策局環境管理課
岡山県環境文化部環境管理課
広島県環境県民局環境保全課
香川県環境森林部環境管理課
愛媛県県民環境部環境局環境政策課
兵庫県漁業協同組合連合会指導部
山口県漁業協同組合指導部
一般財団法人広島県環境保健協会地域活動支援センター

【有識者アドバイザー】

元 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校 代表 鷺尾 圭司
関西学院大学 教授 佐山 浩 （1 章執筆）

瀬戸内における水環境を基調とする海文化
瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み

令和 3 年 2 月発行

発行・編集 公益社団法人瀬戸内海環境保全協会
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号
人と防災未来センター東館5階
電話 078-241-7720 FAX078-241-7730
<https://www.seto.or.jp/>

